ユーザー マニュアル

SyncMaster S27A850D

色と外観は製品によって異なる場合があり、
製品の仕様は性能の向上のために予告無く変更される
場合があります。

BN46-00082A-11

ご使用になる前に

著作権

このマニュアルの内容は、品質向上のために予告なく変更される場合があります。

ⓒ 2011 Samsung Electronics

このマニュアルの著作権は、Samsung Electronics が保有しています。

このマニュアルの一部または全部について、Samsung Electronics の許可なく使用または複製することはできません。

SAMSUNG ロゴおよび SyncMaster ロゴは、Samsung Electronics の登録商標です。

Microsoft、Windows および Windows NT は、Microsoft Corporation の登録商標です。

VESA、DPM および DDC は、Video Electronics Standards Association の登録商標です。

本製品は日本国内用として製造、販売しています。日本国外で使用された場合、当社は責任を負い兼ねます。また、技術相談や、アフターサービスなども国外では行っておりませんのでご注意ください。

本製品は一般OA用として設計・製造されています。一般OA用以外の用途で使用される場合は、保証期間内であっても無償修理の対象外となることがありますのでご注意ください。

このマニュアルで使用されるアイコン

	以下の図はあくまでも参考であり、実際の状況とは異なる場合があります。

安全面での予防措置に使用される記号

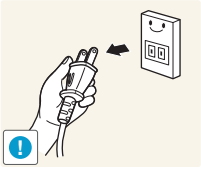
警告	指示に従わない場合には、重傷または死亡事故の原因となることがあります。
注意	指示に従わない場合には、ケガまたは物損事故の原因となることがあります。
	禁止行為を示しています。
	順守すべき行為を示しています。

クリーニング

お手入れに関する注意事項

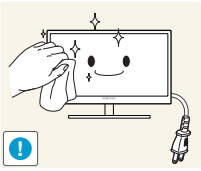
高度 LCD のパネルおよび外装はキズが付きやすいため、清掃の際はご注意ください。

清掃は、次の手順で行ってください。



1. モニターと PC の電源をオフにします。
2. モニターから電源コードを外します。

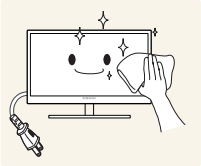
電源コードはプラグ部分を持ち、濡れた手でコードに触れないでください。感電の原因となることがあります。



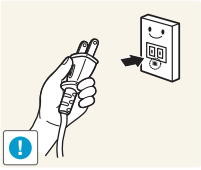
3. 清潔で柔らかい乾いた布でモニターを拭きます。

- アルコール、溶剤または界面活性剤を含む洗浄剤をモニターに使用しないでください。

- 製品に水や洗浄剤を直接かけないでください。



4. 柔らかい乾いた布を水で濡らし、しっかりと絞ってから、モニターの外装を清掃します。

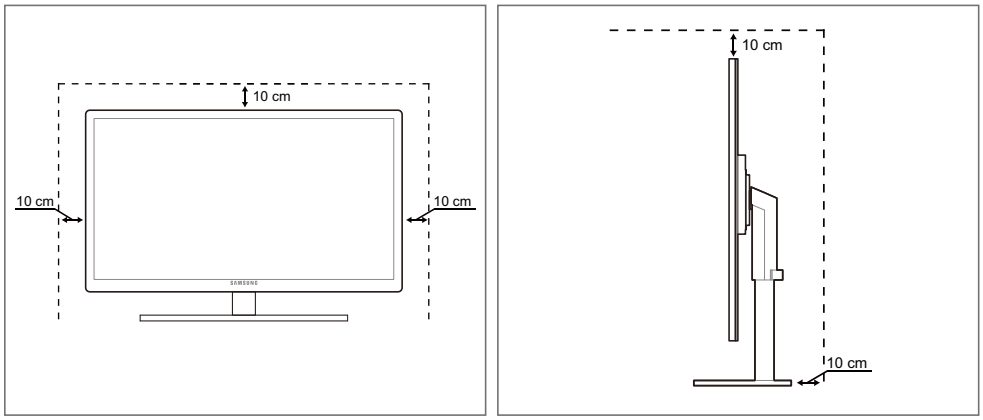


5. 製品の清掃が終わったら、電源コードを製品に接続します。
6. モニターと PC の電源をオンにします。

設置場所の安全確保

- 排気のため、製品の周囲に空間を確保してください。内部温度が上昇すると、火災や製品の破損の原因となることがあります。製品を設置するときには、少なくとも下図に示す空間を確保してください。

外観は製品のモデルによって異なる場合があります。



保管に関する注意事項

超音波加湿器を近くで使用している場合、光沢のあるモデルの表面に白いしみが発生する場合があります。

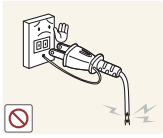
モニター内部の清掃が必要な場合は、Samsung カスタマー サービス センター (80 ページ) までお問い合わせください。(別途作業費がかかります)

安全のために

電気に関する注意事項

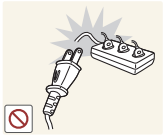
以下の図はあくまでも参考であり、実際の状況とは異なる場合があります。

警告



破損した電源コードまたはプラグ、あるいはがたつきのある電源ソケットを使用しないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

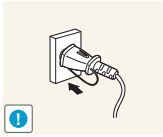


同じ電源ソケットに多数の製品の電源プラグを接続しないでください。

- ソケットが過熱し火災が発生することがあります。

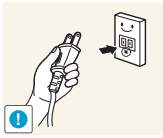
濡れた手で電源プラグに触れないでください。

- 感電の原因となることがあります。



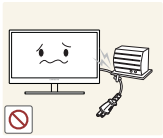
電源プラグはグラグラしないよう最後まで差し込んでください。

- しっかりと接続していない場合、火災の原因となることがあります。



電源プラグは、アースされた電源ソケットに接続してください（絶縁クラス 1 の機器のみ）。

- 感電またはケガの原因となることがあります。



電源コードを無理に曲げたり引っ張ったり、または重い物で電源コードを圧迫しないでください。

- 電源コードが破損して、感電や火災の原因となることがあります。

電源コードや製品を熱源の近くに置かないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

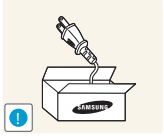
電源プラグの先端や電源ソケットに付いたほこりなどの異物は、乾いた布を使用して取り除いてください。

- 火災の原因となることがあります。

注意

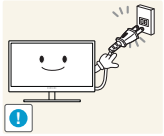
製品の使用中に電源コードを抜かないでください。

- 感電により製品が破損することがあります。



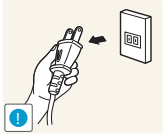
弊社が提供する電源コードのみを使用してください。
また、同梱された電源コードを他の電気機器で使用しないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



電源コードは、遮るものがない場所にある電源ソケットに接続してください。

- 製品に問題が発生した場合は、電源コードを抜いて完全に電源をオフにします。
  製品の電源ボタンだけでは、電源を完全にオフにすることはできません。



電源コードを電源ソケットから抜くときは、プラグ部分を持ってください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

インストール方法

警告

ろうそく、虫除けまたはタバコを製品の上に置いたり、製品を熱源の近くに設置したりしないでください。

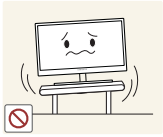
- 火災の原因となることがあります。

製品を本棚や壁付きクローゼットなどの換気の悪い狭い場所に設置しないでください。

- 内部温度が上昇し火災が発生することがあります。

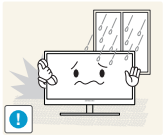
製品梱包用のビニール袋は、お子様の手の届かないところに置いてください。

- お子様がビニール袋で窒息することがあります。



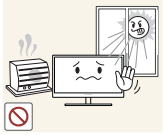
安定しないまたは振動する場所（不安定な棚、傾斜面など）に製品を設置しないでください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。
- 振動の多い場所で製品を使用すると、製品が破損したり火災の原因となることがあります。



製品を車内に設置したり、ほこり、湿気（水切りなど）、油または煙にさらされる場所に設置したりしないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



製品を直射日光の当たる場所や、ストーブなどの熱源にさらされる場所に設置しないでください。

- 製品の寿命が短くなったり火災の原因となることがあります。

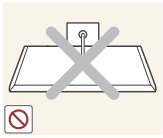
製品をお子様の手の届くところに設置しないでください。

- 製品が落下してお子様のケガの原因となることがあります。

注意

製品を移動させるときは落下にご注意ください。

- 製品の故障やケガの原因となることがあります。

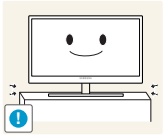


製品の前面を下にして置かないでください。

- 画面が破損することがあります。

製品をキャビネットや棚に設置するときには、製品の前面下側がはみ出ないようにしてください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。
- 製品に合ったサイズのキャビネットや棚に設置してください。



製品を置くときは丁寧に置いてください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。

通常とは異なる場所（大量の微粒子、化学物質、極端な高温または低温にさらされる場所、あるいは長期間にわたって製品を連続稼動させる必要のある空港や駅）に製品を設置した場合には、製品性能に深刻な影響を与える可能性があります。

- これらの場所に製品を設置する場合は、事前に Samsung カスタマー サービス センター（80 ページ）にご相談ください。

ご使用の際の注意事項

警告

製品には高電圧が使用されています。お客様ご自身で製品を分解、修理または改造しないようにしてください。

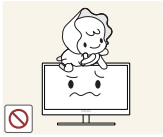
- 感電または火災の原因となることがあります。
- 修理が必要な場合は、Samsung カスタマー サービス センター（80 ページ）までお問い合わせください。

製品を移動するときは、電源スイッチをオフにして、電源ケーブルなどの接続ケーブルをすべて取り外してから移動してください。

- 電源コードが破損して、火災や感電の原因となることがあります。

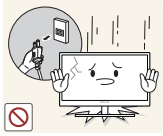
製品から異音、焦げくさい臭い、または煙が発生した場合は、直ちに電源コードを抜いて Samsung カスタマー サービス センター（80 ページ）までご連絡ください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



お子様が製品にぶら下がったりよじ登ったりしないようにしてください。

- 製品が落下して、お子様のケガや場合によっては重傷の原因となることがあります。

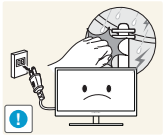


製品が落下したり外装が破損した場合は、電源をオフにし、電源コードを抜いてから、Samsung カスタマー サービス センター（80 ページ）までご連絡ください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

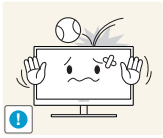
重い物や玩具、菓子などを製品の上に置かないでください。

- お子様がこれらの玩具や菓子を取ろうとして重い物や製品自体が落下し、重傷の原因となることがあります。



落雷や雷雨があるときは、製品の電源をオフにして電源ケーブルを抜いてください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

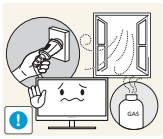


製品の上に物を落としたり、衝撃を与えないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

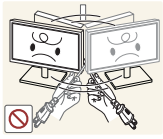
電源コードなどのケーブルを使用して製品を引っ張らないでください。

- 電源コードが破損して、製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。



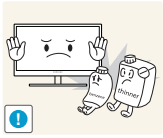
ガス漏れが発生した場合は、製品および電源プラグに触れないようにして、直ちに換気を行ってください。

- 火花が発生して、爆発または火災の原因となることがあります。
- 稲光や激しい雷雨が発生しているときは、電源コードやアンテナ ケーブルには触れないようにしてください。



電源コードやその他のケーブルを使用して製品を持ち上げたり引っ張ったりしないでください。

- 電源コードが破損して、製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。



可燃性のスプレーや物を製品の近くで使用したり、製品の近くに置いたりしないでください。

- 爆発または火災の原因となることがあります。

テーブルクロスやカーテンで通気口を塞がないようにしてください。

- 内部温度が上昇し火災が発生することがあります。

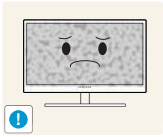
金属性の物（箸、硬貨、ヘアピンなど）や可燃物（紙、マッチなど）を製品の通気口やポートに入れないでください。

- 水や異物が製品内に入った場合は、電源をオフにし、電源コードを抜いてから、Samsung カスタマー サービス センター（80 ページ）までご連絡ください。
- 製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。

水の入った容器（花瓶、コップ、瓶など）や金属性の物を製品の上に置かないでください。

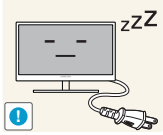
- 水や異物が製品内に入った場合は、電源をオフにし、電源コードを抜いてから、Samsung カスタマー サービス センター（80 ページ）までご連絡ください。
- 製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。

注意



静止画像を長時間表示したまま放置すると、残像の焼き付きや欠陥画素の原因になることがあります。

- 長期間製品を使用しない場合は、省電力モードをオンにするか動画のスクリーン セーバーを設定してください。



休暇などで長期間製品を使用しない場合には、電源コードを電源ソケットから外してください。

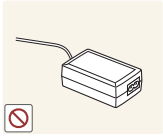
- ほこりの堆積、過熱、感電または漏電が発生し、火災の原因となることがあります。

製品に適した解像度および周波数を使用してください。

- 視力低下の原因となることがあります。

複数の DC 電源アダプタを一緒に置かないでください。

- 火災の原因となることがあります。



DC 電源アダプタは、ビニール袋から取り出して使用してください。

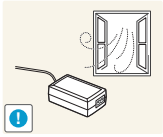
- 火災の原因となることがあります。

DC 電源デバイスの内部に水が入ったり、デバイスが濡れることのないようにしてください。

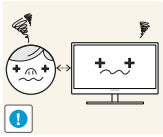
- 感電または火災の原因となることがあります。
- 屋外の雨や雪にさらされる場所で製品を使用しないでください。
- 床の清掃時に DC 電源アダプタが濡れないようにしてください。

DC 電源アダプタを暖房機器の近くに置かないでください。

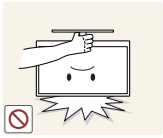
- 火災の原因となることがあります。



DC 電源アダプタは、換気のよい場所に置いてください。



画面を近すぎる位置から長期間見続けると、視力が低下することがあります。

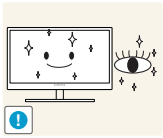


スタンドを持ってモニターを上下逆にしたり移動させたりしないでください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。

加湿器やコンロを製品の周辺で使用しないでください。

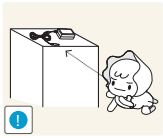
- 感電または火災の原因となることがあります。



製品を使用するときには、1 時間ごとに 5 分以上は目を休めるようにしてください。

- 疲れ目が緩和されます。

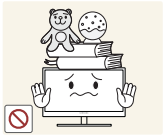
電源を長時間オンの状態にするとディスプレイが高温になるため、ディスプレイには触れないようにしてください。



製品で使用される細かな付属品は、お子様の手の届かないところに保管してください。

製品の角度やスタンドの高さを調整するときにはご注意ください。

- お子様の指や手が挟まれてケガをすることがあります。
- 製品を傾け過ぎると、落下してケガの原因となることがあります。



製品の上に重い物を置かないでください。

- 製品の故障やケガの原因となることがあります。

製品使用時の正しい姿勢

次の事項を守り、正しい姿勢で製品を使用するようにしてください。

- 背中を伸ばします。
- 眼は画面から 45～50cm 離し、画面を少し見下ろすようにします。
  また、画面は顔の真正面にくるようにします。
- 画面に光が反射しないように角度を調整します。
- 前腕を上腕に対して垂直に保ち、前腕が手の甲と同じ高さになるようにします。
- 肘を直角に保ちます。
- 膝を 90 度以上曲げた状態でかかとが床に着き、さらに両腕が心臓より下にくるように製品の高さを調整します。

目次

ご使用になる前に

2 **著作権**
2 このマニュアルで使用されるアイコン
2 安全面での予防措置に使用される記号

3 **クリーニング**
3 お手入れに関する注意事項
4 設置場所の安全確保
4 保管に関する注意事項

5 **安全のために**
5 電気に関する注意事項
6 インストール方法
8 ご使用の際の注意事項

12 **製品使用時の正しい姿勢**

準備

17 **内容の確認**
17 梱包材の取り外し
18 内容物の確認

19 **部品**
19 前面のボタンについて
21 背面

22 **設置**
22 スタンドの取り付け
23 製品の傾きと高さの調整
23 モニター画面の回転
24 ウォール マウント キットまたはデスクトップスタンドの取り付け
25 盗難防止用ロック

26 **"MagicRotation Auto"**

入力信号デバイスの接続と使用

27 **接続の前に**
27 接続前のチェックポイント

目次

28 **PC の接続と使用**
28 PC との接続
29 ドライバのインストール
30 最適な解像度の設定
31 PC を使用した解像度の変更

34 **ヘッドフォンの接続**

35 **製品を USB HUB として PC に接続**
35 PC と製品との接続
35 製品の USB HUB としての使用

36 **電源の接続**

画面の設定

37 **MAGIC**
37 SAMSUNG MAGIC Bright
38 SAMSUNG MAGIC Color

39 **明るさ**
39 明るさ の設定

40 **コントラスト**
40 コントラストの設定

41 **シャープネス**
41 シャープネスの設定

42 **応答時間**
42 応答時間の設定

色合いの設定

43 **赤**
43 赤の設定

44 **緑**
44 緑の設定

45 **青**
45 青の設定

46 **色温度**
46 色温度

目次

47 ガンマ
47 ガンマの設定

画面のサイズとポジションの変更

48 PBP
48 モード
49 コントラスト

50 画像サイズ
50 映像サイズを変更

51 H- ポジション と V- ポジション
51 H- ポジション または V- ポジションの設定

セットアップとリセット

52 ECO
52 エコ モーション センサー
54 エコ光センサー
57 エコ セービング
58 エコ アイコンの表示

60 メニューの透明度
60 メニューの透明度の変更

61 言語
61 言語 の変更

62 PC/AV モード
62 PC/AV モードの設定

63 自動ソース検出
63 自動ソース検出の設定

64 表示時間
64 表示時間の設定

65 繰り返し回数
65 繰り返し回数の設定

66 カスタマイズキー
66 カスタマイズキー の設定

67 オフタイマーのオン / オフ
67 オフタイマーのオン / オフの設定

目次

68 オフタイマー設定
68 オフタイマー設定の設定
69 リセット
69 設定の初期化（リセット）

インフォメーションメニューおよびその他

70 インフォメーション
70 インフォメーションの表示
70 起動画面での 明るさ の設定

トラブルシューティングガイド

71 Samsung カスタマー サービス センターにお問い合わせいただく前に
71 製品のテスト
71 解像度と周波数の確認
71 以下について確認します。
74 Q & A

仕様

76 一般
77 省電力
78 標準信号モード表

付録

80 お客様相談ダイヤル
81 用語

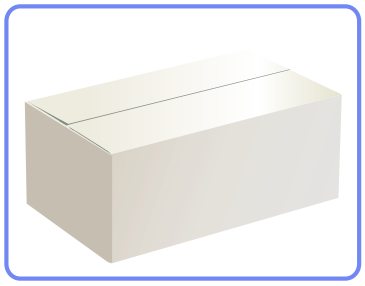
索引

1 準備

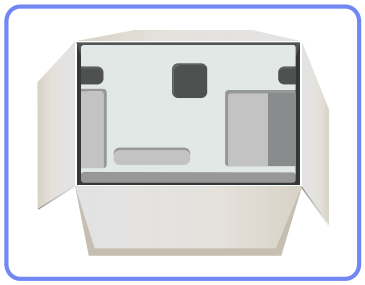
1.1 内容の確認

1.1.1 梱包材の取り外し

1 梱包されている箱を開きます。鋭利なものを使用して開梱する場合は製品を傷付けないようご注意ください。

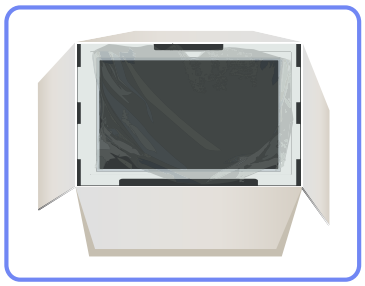


2 製品から発泡スチロールを取り外します。



3 内容物を確認して、発泡スチロールとプラスチックの袋を取り外します。

- 実際の内容物の外観は、表示とは異なる場合があります。
- この図はイメージです。

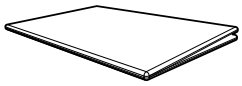


4 箱は、将来製品を移動させる時のために乾燥した場所に保管しておきます。

1.1.2 内容物の確認

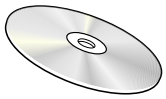
- 不足している物がある場合は、製品を購入された販売店にお問い合わせください。
- 内容物および別売品の外観は、表示とは異なる場合があります。

部品

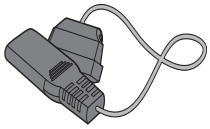


クイック セットアップ ガイド

保証書
（含まれていない地域もあります）

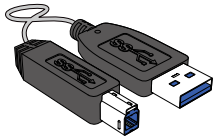


ユーザー マニュアル

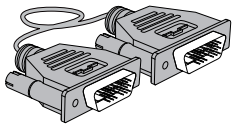


電源ケーブル

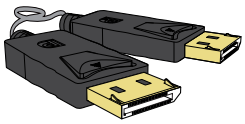
DC 電源アダプタ



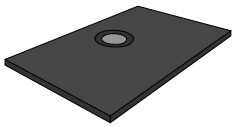
USB 3.0 ケーブル



デュアルリンク DVI ケーブル



DP ケーブル（オプション）

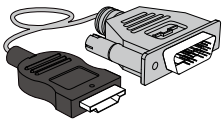


スタンド基部

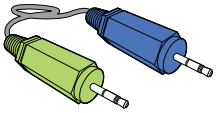
部品は、各部によって異なる場合があります。

別売り品目

以下の別売品は、最寄りの小売店でご購入いただけます。



HDMI-DVI ケーブル

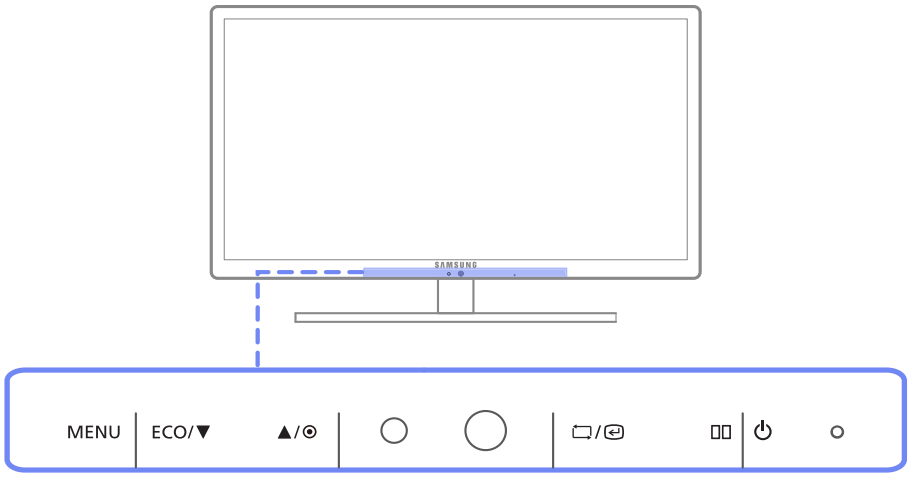


ステレオ ケーブル

1.2 部品

1.2.1 前面のボタンについて

部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。

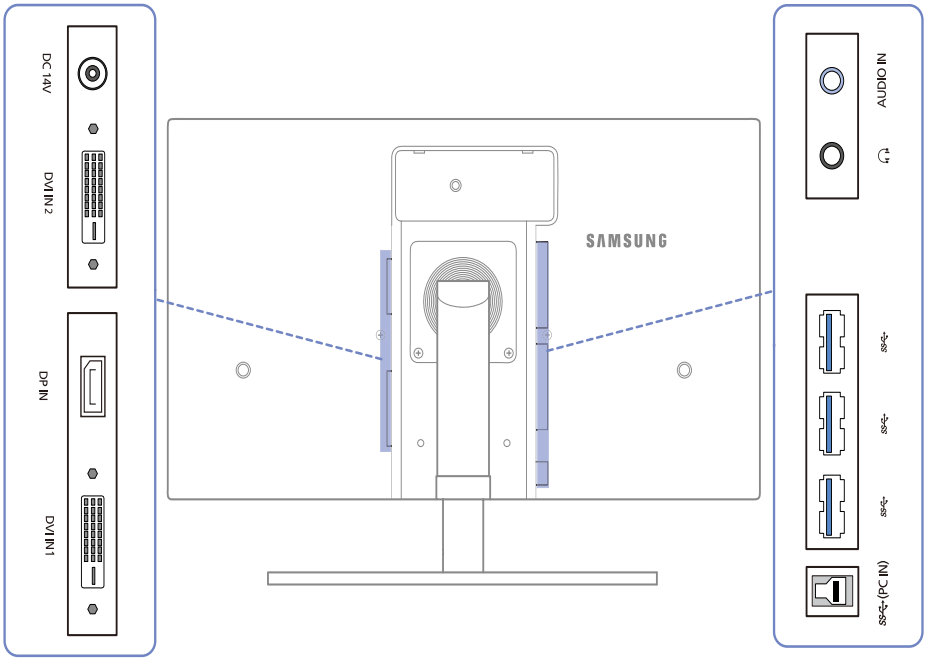


アイコン	説明
MENU	• オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを開いたり、メニューを終了します。終了する前のメニューに戻る場合にも使用します。 • OSD 制御ロック:現在の設定を維持し、設定への意図しない変更が行われないように OSD 制御をロックします。 OSD 制御をロックするには、MENU ボタン[MENU]を 5 秒間押したままにします。 OSD 制御のロックを解除するには、MENU ボタン[MENU]を 5 秒間以上押したままにします。 OSD 制御がロックされている場合、 • 明るさ および コントラスト を調整したり、インフォメーション を表示することができます。 • OSD 制御がロックされる前に カスタマイズキー として設定されていた機能は、[ECO] ボタンを押して使用することができます。

アイコン	説明
ECO	カスタマイズキー を設定し、[ECO] を押します。以下のオプションが有効になります。 • ECO – MAGIC – 画像サイズ カスタマイズキー を設定するには、セットアップとリセット → カスタマイズキー に移動し、目的のモードを選択します。
⊙	画面の輝度を制御します。 ケーブルが [DP IN] または [AUDIO IN] ポートに接続されている場合に、音量 を調節することができます。
▭/↵	選択したメニューを確定します。 OSD メニューが表示されていないときに[▭/↵]ボタンを押すと、入力ソース (デジタル1/デジタル2/DisplayPort) が切り替わります。[▭/↵]ボタンを押して電源をオンにするか、入力ソースを変更した場合は、変更した入力ソースを示すメッセージが画面左上に表示されます。
▼/▲	メニュー間を上下に移動します。OSD メニューのオプション値を調整する場合にも使用します。
▯▯	画面を半分に分割し、2 つの異なるソース デバイスからの出力を画面の左右両半分に同時に表示します。
⏻	画面のオン/オフを切り替えます。
○ 電源インジケーター	製品が正常に動作しているときには電源インジケーターが点灯します。 • 省電力機能の詳細については、"9.2 省電力" を参照してください。 • 消費電力を抑えるために、長期間製品を使用しない場合には電源コードを抜いておくことをお勧めします。

1.2.2 背面

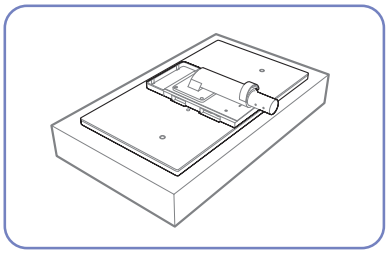
部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。



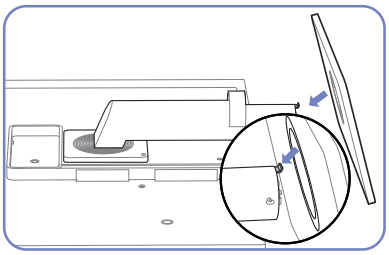
ポート	説明
	DC 電源アダプタを接続します。
	DVI ケーブルを使用して PC と接続します。
	DP ケーブルを使用して PC と接続します。
	USB デバイスに接続します。USB 3.0 以前のケーブルに対応しています。
	ステレオ ケーブルに接続します。
	ヘッドフォンなどのオーディオ出力デバイスを接続します。
	USB ケーブルで PC と接続します。 このポートには PC のみを接続できます。

1.3 設置

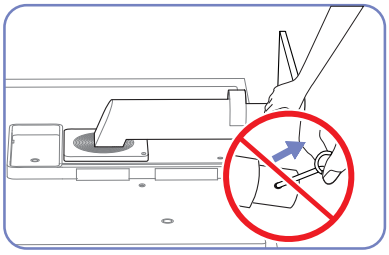
1.3.1 スタンドの取り付け



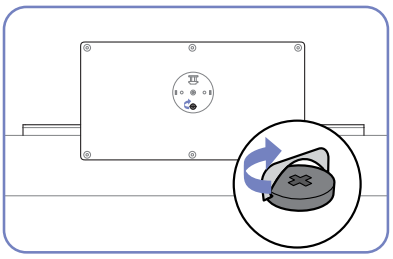
平らな場所に保護用の布またはクッションを置きます。次に、布またはクッションの上に、画面を下にして製品を置きます。



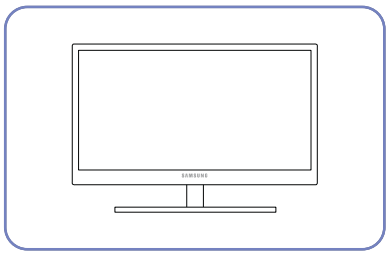
スタンド ベースを、矢印の方向に向かってスタンドに挿入します。



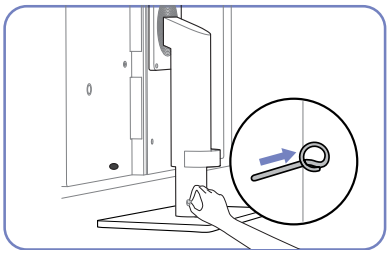
スタンドの取り付けが完了するまで、固定ピンを取り外さないでください。



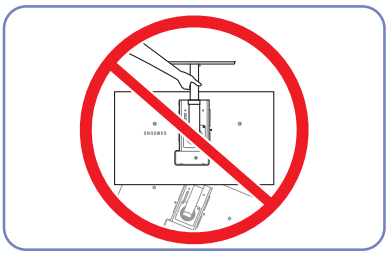
ベースの下部でネジをしっかりと締めます。



スタンドの取り付け後、製品を直立させます。



固定ピンを取り外し、スタンドを調整することができます。



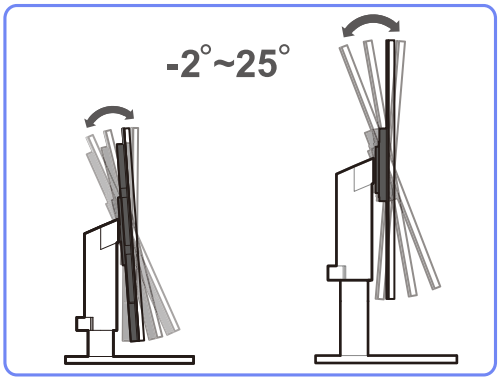
– 警告

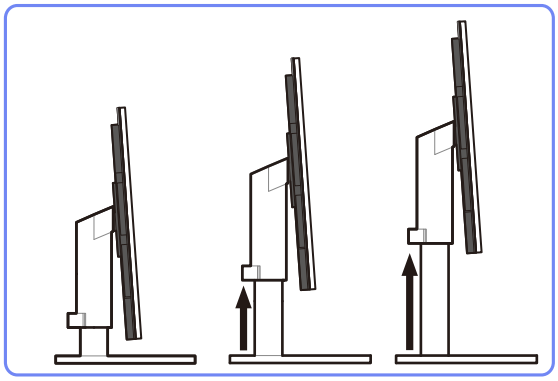
スタンドのみを持って、製品を逆さまにしないでください。

部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。

1.3.2 製品の傾きと高さの調整

部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。

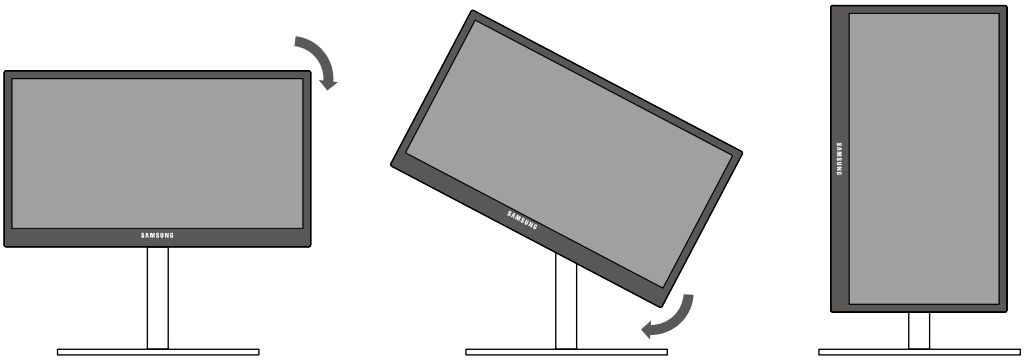




- 高さを調整するには、固定ピンを取り外します。
- モニターの傾きと高さを調整することができます。
- 製品の上部中央を持ち、慎重に高さを調整します。

1.3.3 モニター画面の回転

下図に示すように、モニターを回転させることができます。

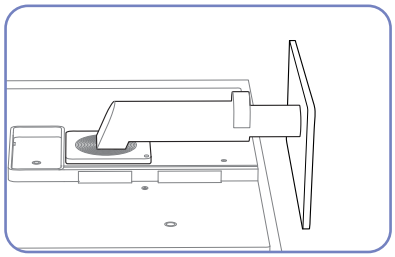


- モニターを回転させる前に、スタンドを完全に伸張させてください。
- スタンドを完全に伸張させずにモニターを回転させると、モニターの角が床にぶつかり、損傷することがあります。
- モニターを反時計回りに回転させないでください。モニターが損傷することがあります。

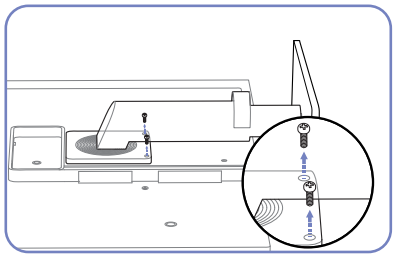
1.3.4 ウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドの取り付け

取り付けの前に

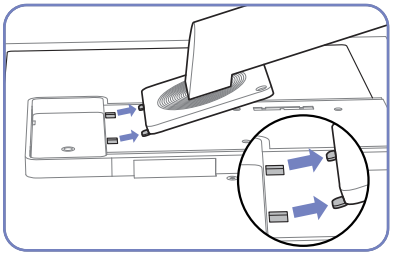
製品の電源をオフにして、電源ソケットから電源ケーブルを取り外します。



平らな場所に保護用の布またはクッションを置きます。次に、布またはクッションの上に、画面を下にして製品を置きます。

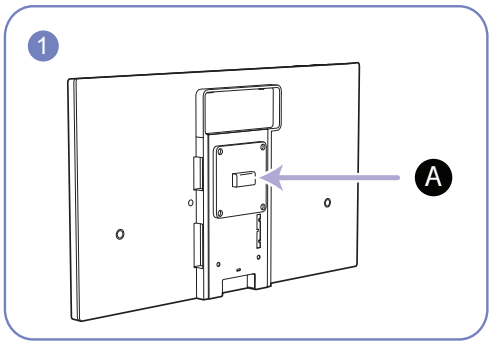


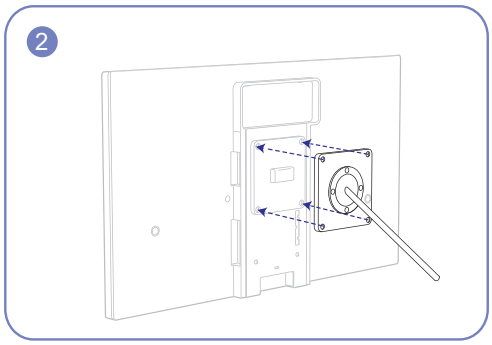
製品の背面にある 4 本のネジを取り外します。

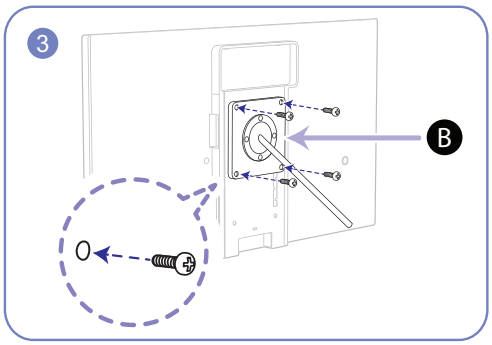


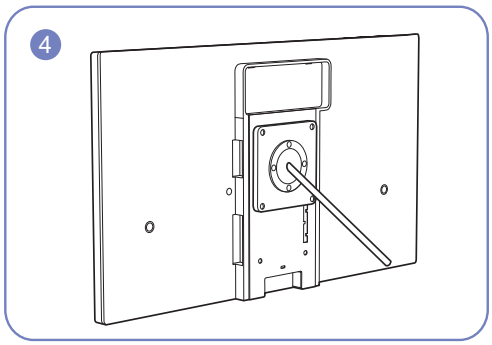
スタンドを持ち上げて取り外します。

ウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドの取り付け









Ⓐ ここにウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドを取り付けます

Ⓑ ブラケット（別売り）

溝と溝を合わせ、ネジをしっかりと締めて、製品のブラケットと取り付けるウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドの対応する部品を固定します。

注意

- 標準の長さよりも長いネジを使用すると、製品の内部コンポーネントを損傷することがあります。
- VESA 規格に準拠していないウォール マウントで必要なネジの長さは、仕様によって異なります。
- VESA 規格に準拠していないネジを使用しないでください。ウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドの取り付け時に過度な力を加えないでください。製品が落下または破損し、傷害の原因になる場合があります。Samsung では、不適切なネジを使用したこと、または、ウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドの取り付け時に過度な力を加えたことが原因で発生した損傷または傷害について、一切責任を負いません。
- Samsung では、指定以外のウォール マウント キットを使用したこと、または、ご自身でウォール マウント キットを取り付けようとしたことが原因で発生した製品の損傷または傷害について、一切責任を負いません。
- 製品を壁掛けにする場合には、壁から 10 cm 以上離して取り付け可能なウォール マウント キットをご購入ください。
- 規格に準拠したウォール マウント キットを使用してください。

1.3.5 盗難防止用ロック

盗難防止用ロックで、公共の場所でも本製品を安心してご使用いただくことができます。ロック装置の形状およびロック方法は、メーカーによって異なります。詳細は、お使いの盗難防止用ロック装置に付属されたユーザーガイドを参照してください。

ロック デバイスは別売りです。

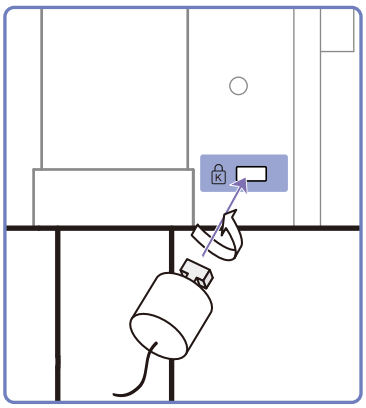
盗難防止用ロック装置のロック方法

1 盗難防止用ロック装置のケーブルを、机などの重量物に固定します。

2 ケーブルの一方の端を、他方の端のループに通します。

3 ロック装置を、本製品の背面にある盗難防止用ロック装置用のスロットに挿入します。

4 ロック装置をロックします。



- 盗難防止用ロック装置は、別売です。
- 詳細は、お使いの盗難防止用ロック装置に付属されたユーザーガイドを参照してください。
- 盗難防止用ロック装置は、家電小売店やオンラインでご購入いただけます。

1.4 ″MagicRotation Auto″

回転センサー装着のモニターの回転が ″MagicRotation Auto″ 機能により検出され、それに応じて Windows 画面が回転します。

[ソフトウェアのインストール]

1 製品に付属するユーザーマニュアル CD を、CD-ROM ドライブに挿入します。

2 画面上に表示される手順に従って、インストールを行います。

インストール後に、表示画面 (OSD) メニューがオペレーティング システムの言語で表示されます。（これは Windows の基本ポリシーに準拠したものです）

[注意]

1 Windows 7 (32 ビットまたは 64 ビット) にのみ対応しています。

2 DDC/CI と MS API 標準に準拠したグラフィックス カードにのみ対応しています。
上記の標準に準拠していないグラフィックス カードでは、″MagicRotation Auto″ 機能は使用できません。

3 この機能のパフォーマンスを最大限発揮できるように、グラフィックス カードのドライバを最新バージョンにアップデートしてください。

4 14 の言語をインストール言語として使用できます。

English, Français, Deutsch, Magyar, Italiano, Polski, Português
Русский, Español, Svenska, Türkçe, 日本語, 汉语, 한국어

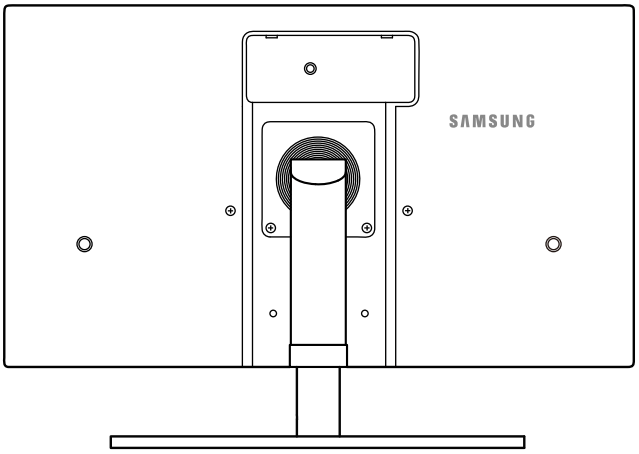
5 Windows 7 の画面の解像度メニューで方向が「横」以外のモードに設定されていると、″MagicRotation Auto″ が正しく機能しないことがあります。

6 モニターが回転すると、OSD メニューが表示されます。モニターが回転すると、グラフィックス カードに応じて画面再構成プロセスまたは画面バーンインが表示されます。これは Windows オペレーティング システムによって実施され、本製品は一切関与しません。

7 モニターが回転したときに自動で画面が回転しないようにするには、Windows キーと L キーを同時に押して Windows オペレーティング システムをロックします。オペレーティング システムをロックできない場合がありますが、これは Windows API の制約によるものであり、本製品は関与しません。

2 入力信号デバイスの接続と使用

2.1 接続の前に



2.1.1 接続前のチェックポイント

- 入力信号デバイスを接続する前に、各デバイスに付属するユーザーマニュアルをお読みください。

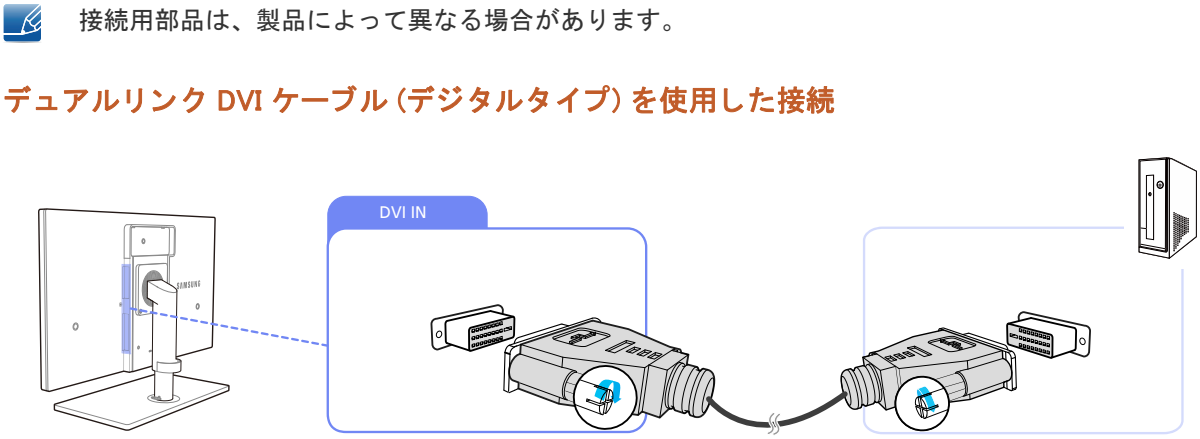
  入力信号デバイスのポートの位置および数は、デバイスによって異なる場合があります。
- すべての接続作業が完了するまで、電源ケーブルを接続しないでください。

  接続作業中に電源ケーブルを接続すると、製品を損傷する場合があります。
- 接続する製品の背面にあるポートのタイプを確認します。

2.2 PC の接続と使用

2.2.1 PC との接続

- お使いの PC に適した接続方法を選んでください。



接続用部品は、製品によって異なる場合があります。

デュアルリンク DVI ケーブル（デジタルタイプ）を使用した接続

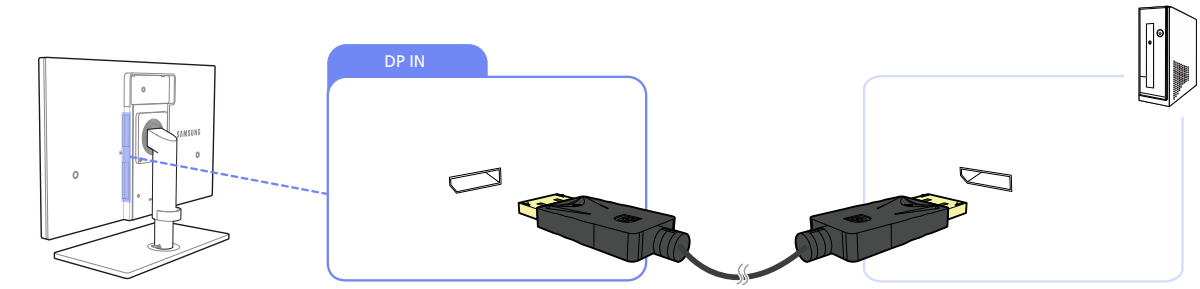
1 製品の背面にある [DVI IN] ポートと PC の DVI ポートを DVI ケーブルで接続します。

2 DC 電源アダプタを製品本体と電源ソケットに接続し、PC の電源スイッチをオンにします。
（詳細については、"2.5 電源の接続" を参照してください。）

3 製品の[□/⏎]を押して入力ソースを **デジタル1** または **デジタル2** に変更します。

- [DVI] ポートを経由で PC と製品を接続している場合、音声は使用できません。
- 音声を有効にする方法の詳細については、"2.3 ヘッドフォンの接続" を参照してください。

DP ケーブルを使用して接続する



1 製品の背面にある[DP IN] ポートと PC の DP ポートを DP ケーブルで接続します。

2 DC 電源アダプタを製品本体と電源ソケットに接続し、PC の電源スイッチをオンにします。
（詳細については、"2.5 電源の接続" を参照してください。）

3 [□/⏎]を押して入力ソースを **DisplayPort** に変更します。

音声がサポートされている場合には、**音量** を製品の正面にある[▼/▲]ボタンで調節できます。

2.2.2 ドライバのインストール

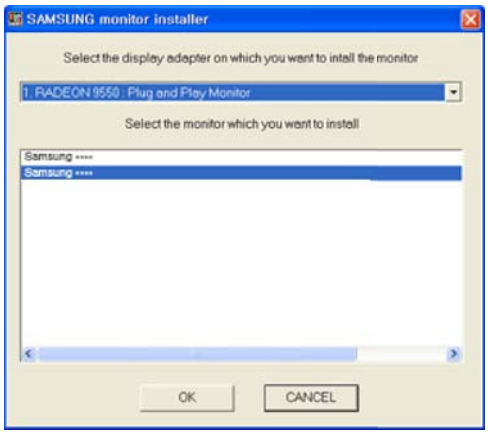
- 適切なドライバをインストールすることで、製品の最適な解像度および周波数を設定することができます。
- インストール用のドライバは、製品に付属している CD に含まれています。
- 付属のファイルに問題がある場合は、Samsung のホームページ (http://www.samsung.com) からファイルをダウンロードしてください。

1 製品に付属するユーザーマニュアル CD を、CD-ROM ドライブに挿入します。

2 "Windows Driver"をクリックします。

3 画面上に表示される手順に従って、インストールを行います。

4 モデルの一覧からご使用のモデルを選択します。



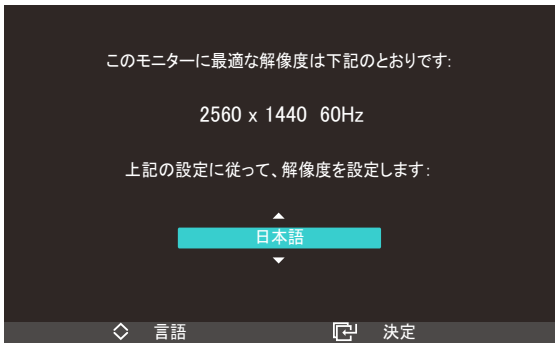
5 [画面のプロパティ] に移動して、適切な解像度とリフレッシュ レートになっていることを確認します。

詳細は、Windows OS のマニュアルを参照してください。

2.2.3 最適な解像度の設定

購入後に製品の電源を初めてオンにすると、最適な解像度設定についての通知メッセージが表示されます。

言語を選択し、解像度を最適な値に変更します。



1 [▼/▲]を押して該当する言語に移動し、[□/↵]を押します。

2 通知メッセージを非表示にするには、[MENU]を押します。

- 最適な解像度が選択されていない場合には、電源を一度オフにしてから再度オンにした場合でも、このメッセージが一定期間、最大 3 回表示されます。
- 最適な解像度 (2560 x 1440) は、PC の**コントロール パネル**で選択することもできます。
- 最適な解像度である (2560 x 1440) は、デュアル リンク対応の DVI ケーブルと DP ケーブル でのみサポートされています。

2.2.4 PC を使用した解像度の変更

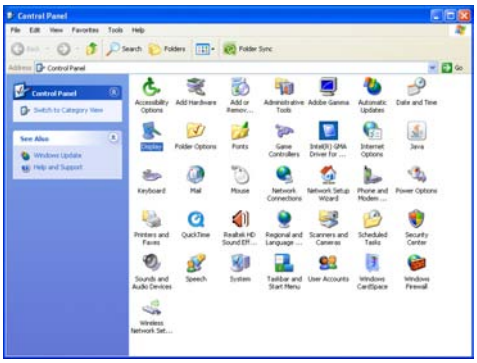
- PC のコントロール パネルで、解像度とリフレッシュ レートを調整して、最適な画質にします。
- 最適な解像度を選ばないと、TFT-LCD の画質が低下する場合があります。

Windows XP での解像度の変更

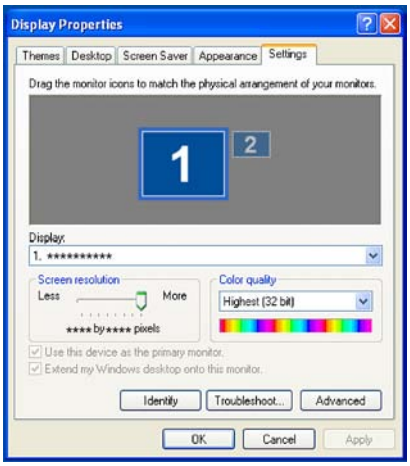
コントロール パネル →**画面** →**設定**に移動して、解像度を変更します。

1

2



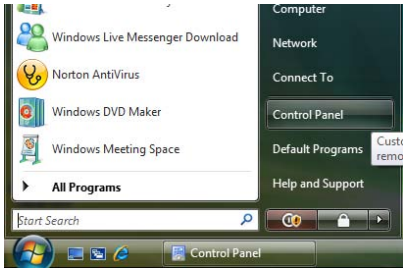
3



Windows Vista での解像度の変更

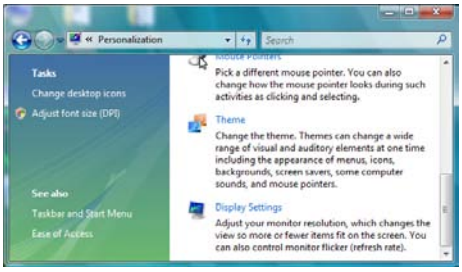
コントロール パネル → **個人設定** → **画面の設定**に移動して、解像度を変更します。

1



2

3

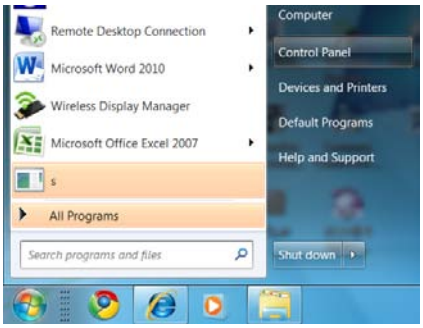


4

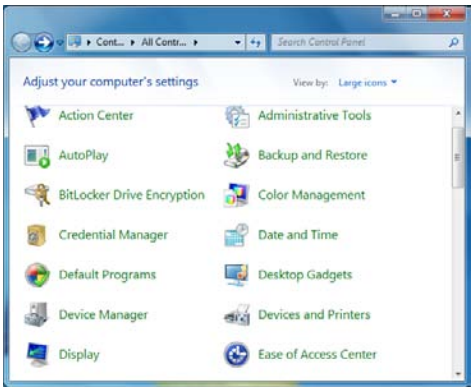
Windows 7 での解像度の変更

コントロール パネル → **画面** → **画面の解像度**に移動して、解像度を変更します。

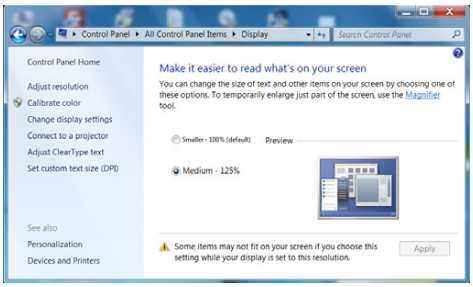
1



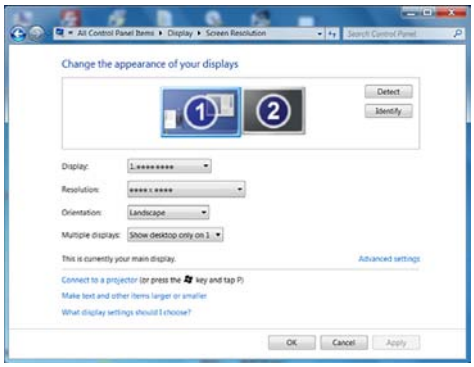
2



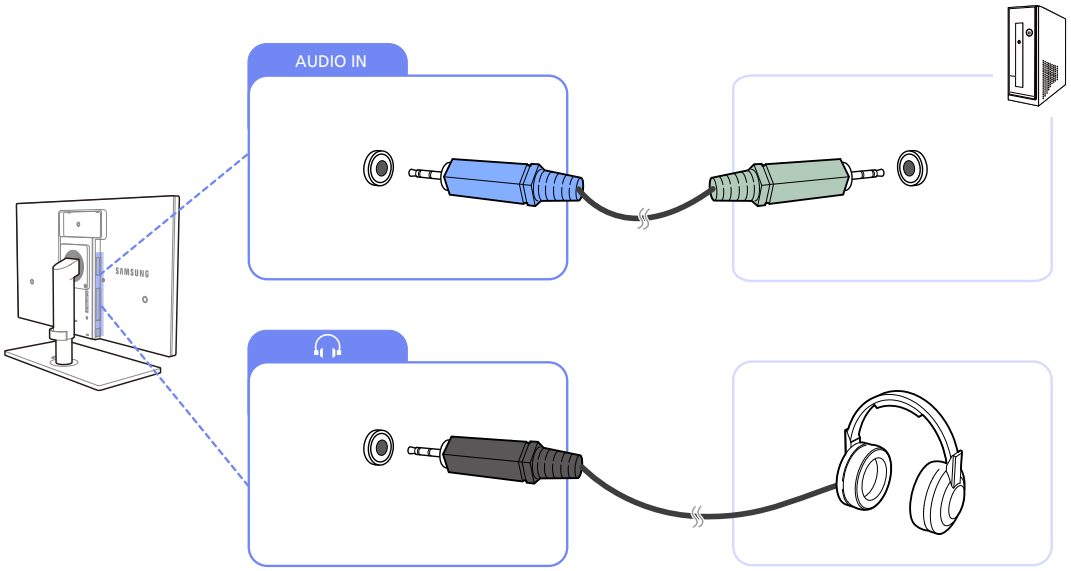
3



4



2.3 ヘッドフォンの接続



1 製品の背面にある [AUDIO IN] ポートと PC の AUDIO OUT ポートをステレオ ケーブルで接続します。

ステレオ ケーブルが接続されている場合は、**音量** を製品の正面にある[▼/▲]ボタンで調節できます。

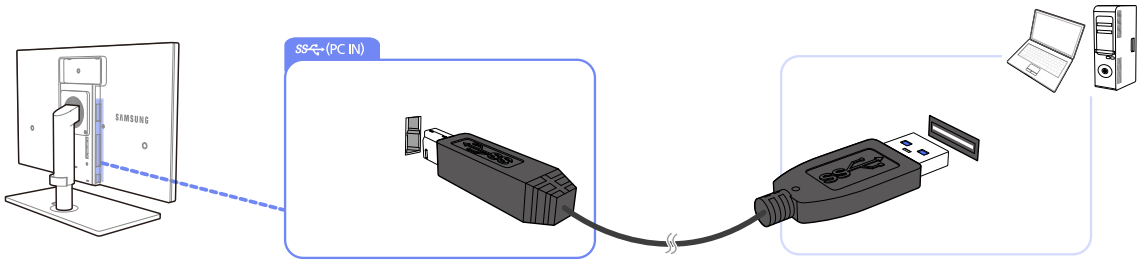
2 ヘッドフォンやスピーカーなどのオーディオ出力デバイスを製品の[🎧]に接続してください。

2.4 製品を USB HUB として PC に接続

2.4.1 PC と製品との接続

USB ケーブルで製品と PC を接続することにより、製品を HUB として機能させることができます。本装置と PC を接続することなくソース機器と本製品を直接接続して、製品から機器を制御することができます。

製品を USB HUB として使用するには、USB ケーブルを使用して製品と PC を接続します。



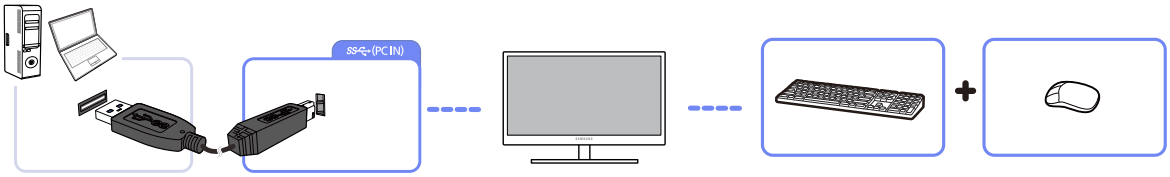
USB ケーブルを製品背面の[ ]と PC の USB [ ]に接続します。

製品と PC との接続には USB 2.0 ケーブルを使用できます。ただし、USB 3.0 の機能を十分に機能させるには、ご使用の PC が USB 3.0 をサポートしている必要があります。

2.4.2 製品の USB HUB としての使用

製品を HUB として使用すると、製品にさまざまなソース機器を同時に接続して使用することができます。

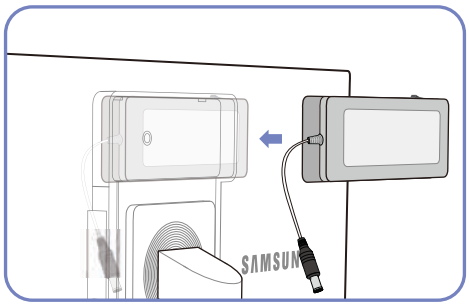
PC の場合には、使用可能な入出力ポート数が限られているため、同時に複数のソース機器を接続することはできません。製品の HUB 機能では、複数のソース機器を、PC ではなく製品の USB ポートに同時に接続できるため、作業効率が向上します。



複数のソース機器を PC に接続していると、ケーブルの多さで PC の周辺が乱雑になってしまうことがあります。これらの機器を製品に直接接続することで、このような不便さを解消できます。

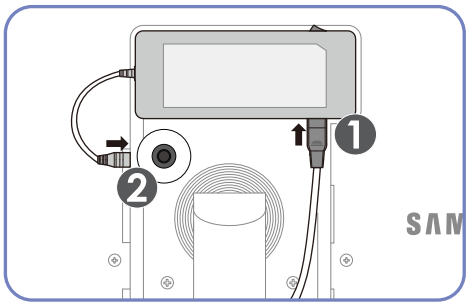
外付けの大容量 HDD を使用する場合は外部電源が必要です。必ず電源に接続してください。

2.5 電源の接続

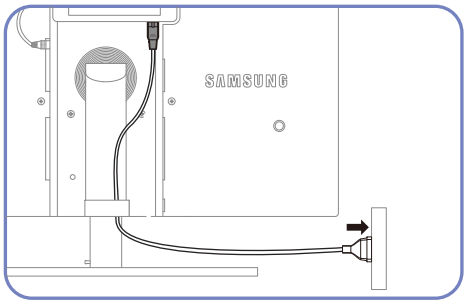


スイッチを上にして、DC 電源アダプタを溝に押し込みます。

– カチッという音がするまで、アダプタを押し込みます。

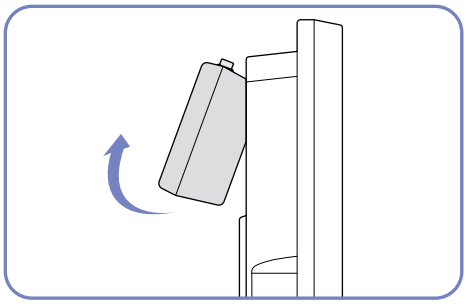


電源ケーブルを DC 電源アダプタに接続します。次に、DC 電源アダプタを製品に接続します。



電源ケーブルをコンセントに接続します。

– DC 電源アダプタの取り外し



DC 電源アダプタを取り外すには、図に示すように、アダプタの下部を外側に持ち上げます。

アダプタをモニターの背面に固定せずに使用する場合には、アダプタ ジャックが外れやすくなったり、ケーブルが破損することがあります。アダプタを溝にしっかりと固定してください。

3 画面の設定

明るさや色温度などの画面設定を行います。

3.1 MAGIC

この機能では、製品の使用状況に応じて色および輝度が最適化されます。

3.1.1 SAMSUNG MAGIC Bright

このメニューでは、製品を使用する環境に合わせて画質を最適化することができます。

- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Color が **フル** モードまたは **インテリジェント** モードのときは使用できません。
- このメニューは、**エコ光センサー** または **エコ セービング**が **オン** に設定されている場合には使用できません。
- このメニューは、**PBP** が **オン** に設定されている場合には使用できません。

SAMSUNG MAGIC Bright の設定

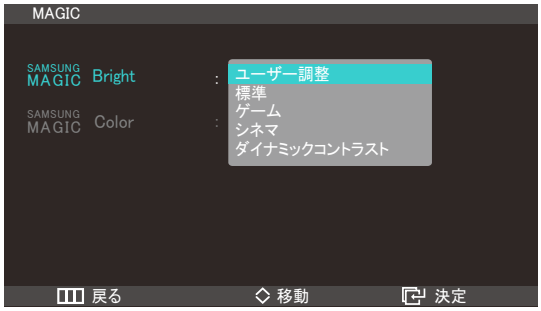
1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**映像**に移動し、[□/⏎]を押します。

3 [▼/▲]を押して **MAGIC** に移動し、[□/⏎]を押します。

4 [▼/▲]を押して SAMSUNG MAGIC Bright に移動し、[□/⏎]を押します。

以下の画面が表示されます。



- **ユーザー調整**: 必要に応じてコントラストと明るさをカスタマイズします。
- **標準**: 文書の編集やインターネットの使用に適した画質を取得します。
- **ゲーム**: グラフィック効果や動的動作を多く使用したゲームに適した画質を取得します。
- **シネマ**: ビデオや DVD コンテンツに適した、TV と同じ明るさとシャープネスを取得します。
- **ダイナミックコントラスト**: コントラストを自動調整し、バランスの取れた明るさを取得します。

5 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/⏎]を押します。

6 選択されたオプションが適用されます。

3.1.2 SAMSUNG MAGIC Color

SAMSUNG MAGICColor は、Samsung が独自に開発した新しい映像画質向上テクノロジーで、画質を低下させることなく色鮮やかな自然色を実現します。

- このメニューは、SAMSUNG MAGICBright が **シネマ** モードまたは **ダイナミックコントラスト** モードのときは使用できません。
- このメニューは、PBP が **オン** に設定されている場合には使用できません。

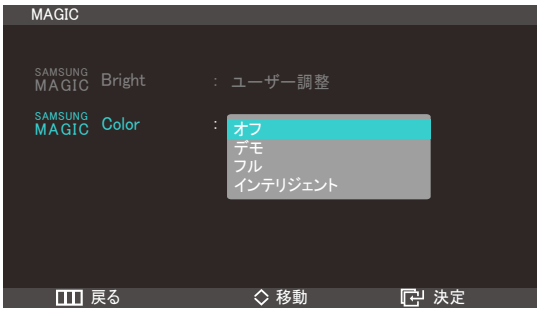
SAMSUNG MAGICColor の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**映像**に移動し、[□/⏎]を押します。

3 [▼/▲]を押して **MAGIC** に移動し、[□/⏎]を押します。

4 [▼/▲]を押して SAMSUNG MAGICColor に移動し、[□/⏎]を押します。
以下の画面が表示されます。



- **オフ**: SAMSUNG MAGICColor を無効にします。
- **デモ**: 通常の画面モードと SAMSUNG MAGICColor モードを比較できます。
- **フル**: 肌の色を含む、映像全体の画質をより鮮明にします。
- **インテリジェント**: 肌の色以外の、映像全体の彩度を向上させます。

5 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/⏎]を押します。

6 選択されたオプションが適用されます。

3.2 明るさ

画像の明るさを調整します。(範囲: 0~100)

値を大きくすると、画像が明るくなります。

- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Bright が **ダイナミックコントラスト** モードに設定されている場合には使用できません。
- このメニューは、**エコ光センサー** または **エコ セービング**が **オン** に設定されている場合には使用できません。

3.2.1 明るさ の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**映像**に移動し、[□/⏎]を押します。

3 [▼/▲]を押して**明るさ**に移動し、[□/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▼/▲]ボタンを使用して**明るさ**を調整します。

3.3 コントラスト

オブジェクトと背景のコントラストを調整します。(範囲: 0~100)

値を大きくすると、コントラストが高くなり、オブジェクトがよりはっきりとします。

- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Bright が **シネマ** モードまたは **ダイナミックコントラスト** モードのときは使用できません。
- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Color が **フル** モードまたは **インテリジェント** モードのときは使用できません。

3.3.1 コントラストの設定

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**映像**に移動し、[□/↵]を押します。

3 [▼/▲]を押して**コントラスト**に移動し、[□/↵]を押します。

以下の画面が表示されます。

4 [▼/▲]ボタンを使用して**コントラスト**を調整します。

3.4 シャープネス

オブジェクトの輪郭をより明確に、または曖昧にします。(範囲: 0~100)

値を大きくすると、オブジェクトの輪郭が明確になります。

- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Bright が **シネマ** モードまたは **ダイナミックコントラスト** モードのときは使用できません。
- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Color が **フル** モードまたは **インテリジェント** モードのときは使用できません。
- このメニューは、**PBP** が **オン** に設定されている場合には使用できません。

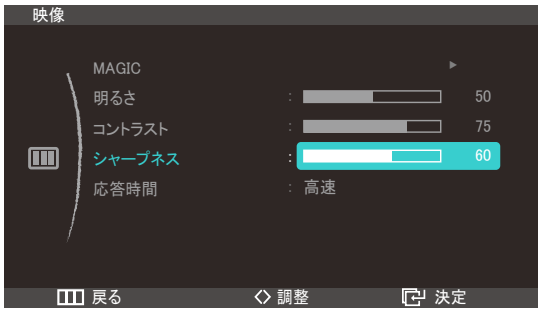
3.4.1 シャープネスの設定

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**映像**に移動し、[□/⏎]を押します。

3 [▼/▲]を押して**シャープネス**に移動し、[□/⏎]を押します。

以下の画面が表示されます。



4 [▼/▲]ボタンを使用して**シャープネス**を調整します。

3.5 応答時間

パネルの応答速度を加速させて、動画をより鮮明で自然に表示します。

- 映画を見る場合以外は、**応答時間**を**標準**または**高速**に設定するのが最も効果的です。
- 使用できるモニターの機能はモデルによって異なることがあります。実際の製品を参照してください。
- このメニューは、**PBP** が **オン** に設定されている場合には使用できません。

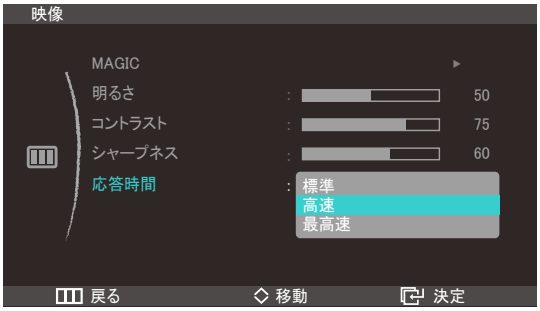
3.5.1 応答時間の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**映像**に移動し、[□/⏎]を押します。

3 [▼/▲]を押して**応答時間**に移動し、[□/⏎]を押します。

以下の画面が表示されます。



4 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/⏎]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

4 色合いの設定

画面の色合いを調整します。このメニューは、SAMSUNG MAGIC Bright が **シネマ** モードまたは **ダイナミックコントラスト** モードに設定されている場合には使用できません。

4.1 赤

画像の赤色の値を調整します。(範囲: 0~100)

値が大きいほど、色強度は強くなります。

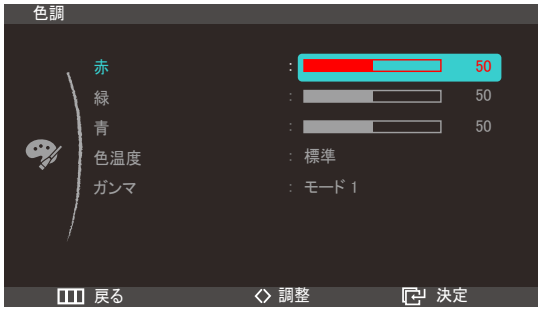
- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Color が **フル** モードまたは **インテリジェント** モードのときは使用できません。
- このメニューは、**PBP** が **オン** に設定されている場合には使用できません。

4.1.1 赤の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**色調**に移動し、[□/⏎]を押します。

3 [▼/▲]を押して**赤** に移動し、[□/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。



4 [▼/▲]ボタンを使用して**赤** を調整します。

4.2 緑

画像の緑色の値を調整します。(範囲: 0~100)

値が大きいほど、色強度は強くなります。

- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Color が **フル** モードまたは **インテリジェント** モードのときは使用できません。
- このメニューは、**PBP** が **オン** に設定されている場合には使用できません。

4.2.1 緑の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**色調**に移動し、[□/⏎]を押します。

3 [▼/▲]を押して**緑** に移動し、[□/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▼/▲]ボタンを使用して**緑** を調整します。

4.3 青

画像の青色の値を調整します。(範囲: 0~100)

値が大きいほど、色強度は強くなります。

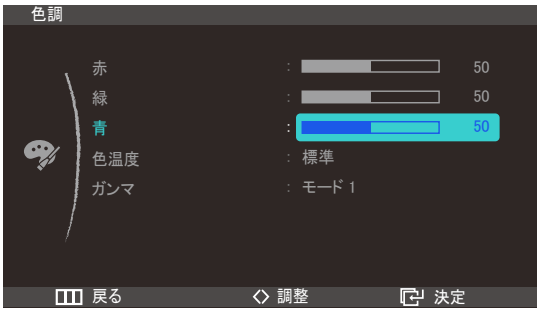
- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Color が **フル** モードまたは **インテリジェント** モードのときは使用できません。
- このメニューは、**PBP** が **オン** に設定されている場合には使用できません。

4.3.1 青の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**色調**に移動し、[□/⏎]を押します。

3 [▼/▲]を押して**青** に移動し、[□/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。



4 [▼/▲]ボタンを使用して**青** を調整します。

4.4 色温度

画像の色温度を調整します。

- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Color が **フル** モードまたは **インテリジェント** モードのときは使用できません。
- このメニューは、PBP が **オン** に設定されている場合には使用できません。

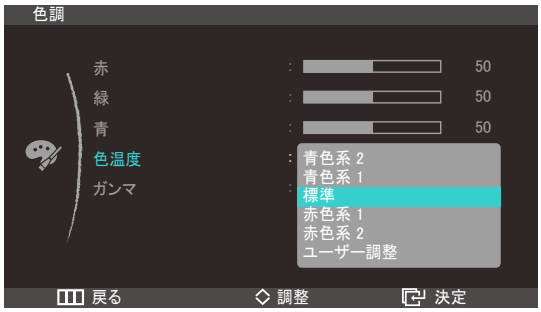
4.4.1 色温度

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**色調**に移動し、[□/⏎]を押します。

3 [▼/▲]を押して**色温度**に移動し、[□/⏎]を押します。

以下の画面が表示されます。



- **青色系 2**: 色温度を**青色系 1**よりも寒色に設定します。
- **青色系 1**: 色温度を**標準**モードよりも寒色に設定します。
- **標準**: 標準の色温度を表示します。
- **赤色系 1**: 色温度を**標準**モードよりも暖色に設定します。
- **赤色系 2**: 色温度を**赤色系 1**よりも暖色に設定します。
- **ユーザー調整**: 色温度をカスタマイズします。

4 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/⏎]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

4.5 ガンマ

映像の中間域の明るさ（ガンマ）を調整します。

このメニューは、PBP が オン に設定されている場合には使用できません。

4.5.1 ガンマの設定

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して色調に移動し、[□/⏎]を押します。

3 [▼/▲]を押してガンマに移動し、[□/⏎]を押します。

以下の画面が表示されます。

4 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/⏎]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

5 画面のサイズとポジションの変更

5.1 PBP

PBP (Picture by Picture) 機能では、画面を半分に分割し、2 つの異なるソース デバイスからの出力を画面の左右両半分に同時に表示します。

Windows 7 のみに対応しています。

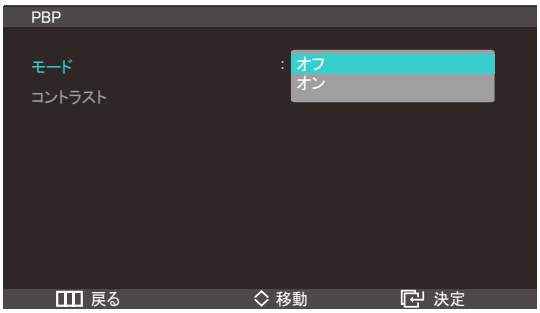
5.1.1 モード

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押してサイズとポジションに移動し、[□/⏎]を押します。

3 [▼/▲]を押してPBPに移動し、[□/⏎]を押します。

4 [▼/▲]を押してモードに移動し、[□/⏎]を押します。
以下の画面が表示されます。



	入力信号
画面の左側	デジタル1 または DisplayPort
画面の右側	デジタル2

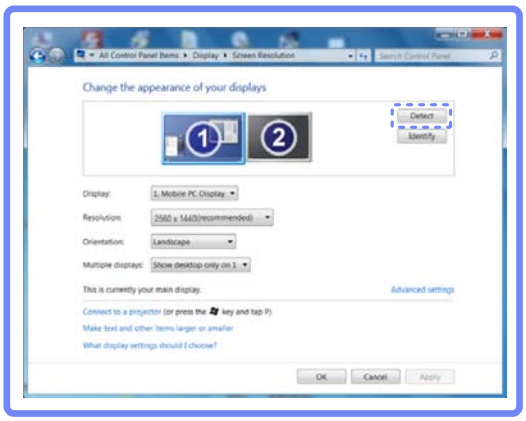
5 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/⏎]を押します。

6 選択されたオプションが適用されます。

PBP 機能が有効な場合

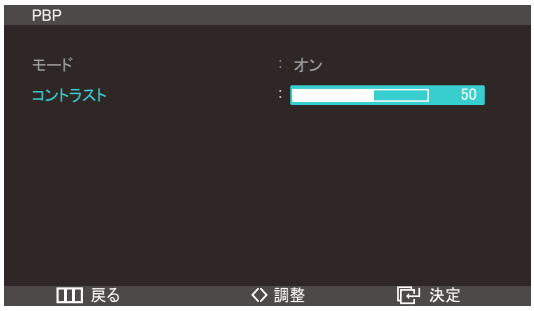
- 左右の画像が交互に表示されます。
- SOURCE を押します。左の画面の入力ソース (デジタル1 ↔ DisplayPort) が変更されます。入力信号が不安定な場合、画面がちらつくことがあります。
- 画面の左側および右側に最適な解像度は 1280X1440 (幅 x 高さ) です。
- 画面の左側を全画面に表示するには、[▯▯] ボタンを押します。
- カスタマイズキー では、ECO 項目のみ有効となります。

- 使用するグラフィック カードの仕様によっては、PBP 機能を使用できない場合があります。
  最適な解像度 (1280 x 1440) が選択されているのに PBP モードで画面に何も映らない場合には、PC で**コントロール パネル→ディスプレイ→画面の解像度**に移動して、**検出**をクリックします。
  (説明は Windows 7 の場合です。)
  解像度が 1280 x 1440 に設定されているのに画面に何も映らない場合には、解像度を 1280 x 1024 に変更します。
  (解像度の設定方法の詳細については、"2.2.4　PC を使用した解像度の変更" を参照してください。)



5.1.2　コントラスト

1 [MENU]を押します。
2 [▼/▲]を押して**サイズとポジション**に移動し、[□/⏎]を押します。
3 [▼/▲]を押して**PBP**に移動し、[□/⏎]を押します。
4 [▼/▲]を押して**コントラスト**に移動し、[□/⏎]を押します。
以下の画面が表示されます。



5 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/⏎]を押します。
6 選択されたオプションが適用されます。

5.2 画像サイズ

映像サイズを変更します。

このメニューは、PBP が オン に設定されている場合には使用できません。

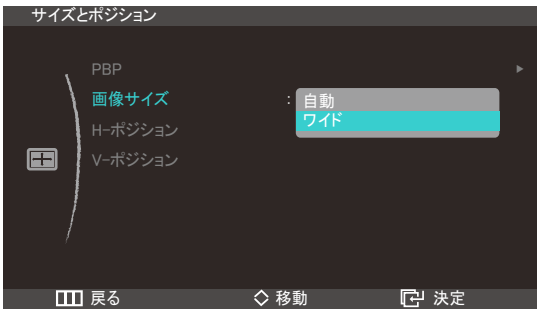
5.2.1 映像サイズを変更

1 [MENU]を押します。

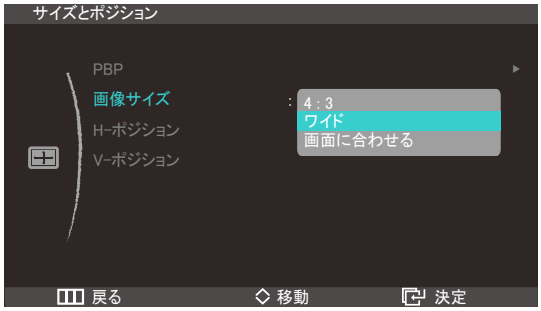
2 [▼/▲]を押して**サイズとポジション**に移動し、[□/⏎]を押します。

3 [▼/▲]を押して**画像サイズ**に移動し、[□/⏎]を押します。

以下の画面が表示されます。



- **自動**: 入力ソースの縦横比で画像を表示します。
- **ワイド**: 入力ソースの縦横比と無関係に画像を全画面表示します。



- **4:3**: 画像を 4:3 の縦横比で表示します。ビデオや標準放送に適しています。
- **ワイド**: 入力ソースの縦横比と無関係に画像を全画面表示します。
- **画面に合わせる**: 画像を切断することなく本来の縦横比で表示します。

画像サイズ を有効にするための要件。

- DVI/DP ケーブルでデジタル出力デバイスに接続しているとき
- 信号の解像度が 480p、576p、720p、1080i、1080p のとき

4 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/⏎]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

5.3 H-ポジション と V-ポジション

H-ポジション:画面を左右に動かします。

V-ポジション:画面を上下に動かします。

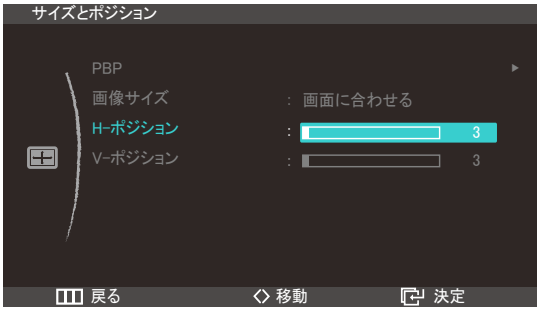
- このメニューは、**画像サイズ** が **画面に合わせる** に設定されている場合にのみ使用できます。
- このメニューは、**PBP** が **オン** に設定されている場合には使用できません。

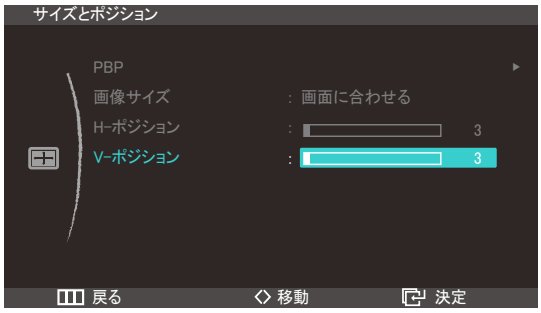
5.3.1 H-ポジション または V-ポジションの設定

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**サイズとポジション**に移動し、[□/⏎]を押します。

3 [▼/▲]を押して **H-ポジション** または **V-ポジション** に移動し、製品の[□/⏎]を押します。
以下の画面が表示されます。





4 [▼/▲]を押して **H-ポジション** または **V-ポジション** を設定します。

6 セットアップとリセット

6.1 ECO

エコ モーション センサー、**エコ光センサー** および **エコ セービング** オプションは同じメニューページに表示されるため、省電力設定を便利に行うことができます。

6.1.1 エコ モーション センサー

エコ モーション センサー が有効になり、指定されたエリアで指定された時間動きが検出されない場合、消費電力が削減されます。

エコ モーション センサー は、モニターがポートレイト（縦位置）モードのときは使用できません。

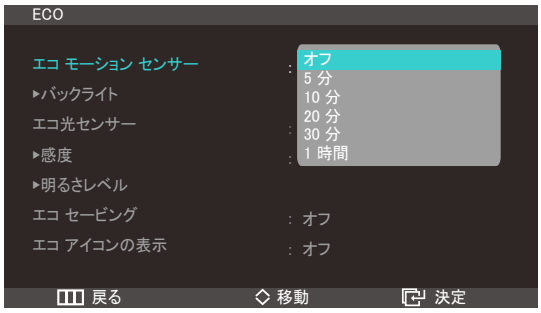
エコ モーション センサー の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[□/⏎]を押します。

3 [▼/▲]を押して**ECO**に移動し、[□/⏎]を押します。

4 [▼/▲] を押して **エコ モーション センサー** に移動し、[□/⏎] を押します。
以下の画面が表示されます。



このオプションは、製品が省電力モードの PC に接続されたときには無効になります。

- **オフ**:**エコ モーション センサー** 機能を無効にします。
- **5 分**: 指定された検出範囲内で 5 分間、物や人の動きがセンサーによって検出されない場合、自動的に電源がオフになります。
- **10 分**: 指定された検出範囲内で 10 分間、物や人の動きがセンサーによって検出されない場合、自動的に電源がオフになります。
- **20 分**: 指定された検出範囲内で 20 分間、物や人の動きがセンサーによって検出されない場合、自動的に電源がオフになります。
- **30 分**: 指定された検出範囲内で 30 分間、物や人の動きがセンサーによって検出されない場合、自動的に電源がオフになります。
- **1 時間**: 指定された検出範囲内で 1 時間、物や人の動きがセンサーによって検出されない場合、自動的に電源がオフになります。

5 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/⏎]を押します。

6 選択されたオプションが適用されます。

バックライト の設定

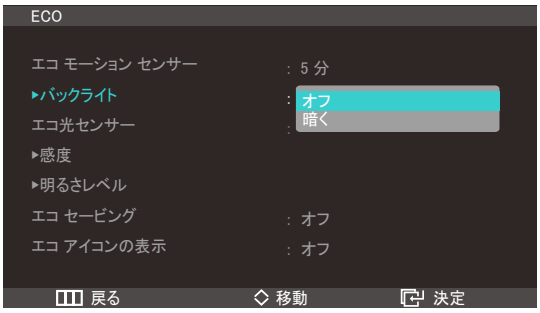
1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[□/↵]を押します。

3 [▼/▲]を押して**ECO**に移動し、[□/↵]を押します。

4 [▼/▲]を押して**バックライト**に移動し、[□/↵]を押します。

以下の画面が表示されます。



- **オフ**: 画面をオフにして、DPMS モードを有効にします。**オフ** が選択されている場合、オフになった後、モニターが動きを検出してオンになるまで数秒かかります。
- **暗く**: 画面の輝度を下げます (電源はオンのまま)。

5 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/↵]を押します。

6 選択されたオプションが適用されます。

- **エコ モーション センサー** の性能は、特定のユーザー距離 (1m) および角度 (40 度) で最大になります。
- 静止しているとセンサーに検出されない場合があります。
- モード移行のメッセージが頻繁に表示される場合、**エコ モーション センサー** の時間設定を長くするか、**エコ アイコンの表示** を **オフ** にします。
- 製品の誤作動の原因となる場合があるため、製品の近くでトランシーバーなどの無線機器を使用しないでください。

6.1.2 エコ光センサー

エコ光センサー 機能によって視聴条件が最適化され、周囲の明るさに応じて画面の輝度が調整されるため、省電力に貢献します。

- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Bright が **ダイナミックコントラスト** モードに設定されている場合には使用できません。
- このメニューは、**エコ セービング** が設定されている場合には使用できません。

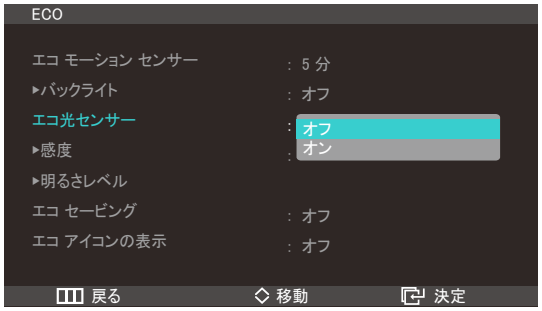
エコ光センサー の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[□/⏎]を押します。

3 [▼/▲]を押して**ECO**に移動し、[□/⏎]を押します。

4 [▼/▲] を押して **エコ光センサー** に移動し、[□/⏎] を押します。
以下の画面が表示されます。



- **オフ**: **エコ光センサー** 機能を無効にします。
- **オン**: 周囲の明るさに応じて、自動的に輝度を調整します。

5 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/⏎]を押します。

6 選択されたオプションが適用されます。

感度 の設定

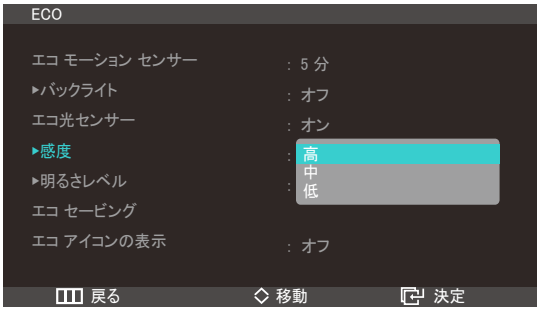
1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[□/⏎]を押します。

3 [▼/▲]を押して**ECO**に移動し、[□/⏎]を押します。

4 [▼/▲]を押して**感度**に移動し、[□/⏎]を押します。

以下の画面が表示されます。



- **高**: 感度を高 (High) にすると、周囲の明るさに応じて画面の輝度が変化するレベルが最大になります。
- **中**: 感度を中間 (Medium) にすると、周囲の明るさに応じて画面の輝度が変化するレベルが **高** と **低** の中間になります。
- **低**: 感度を低 (Low) にすると、周囲の明るさに応じて画面の輝度が変化するレベルが最小になります。

5 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/⏎]を押します。

6 選択されたオプションが適用されます。

明るさレベル の設定

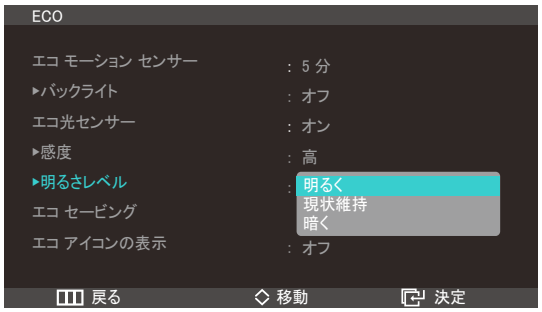
1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[□/↵]を押します。

3 [▼/▲]を押して**ECO**に移動し、[□/↵]を押します。

4 [▼/▲]を押して**明るさレベル**に移動し、[□/↵]を押します。

以下の画面が表示されます。



- **明るく**: 画面の現在の輝度を上げます。
- **現状維持**: 画面の現在の輝度を維持します。
- **暗く**: 画面の現在の輝度を下げます。

5 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/↵]を押します。

6 選択されたオプションが適用されます。

6.1.3 エコ セービング

エコ セービング 機能によって、モニター パネルで使用される電力を制御することにより、消費電力が削減されます。

- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Bright が **ダイナミックコントラスト** モードに設定されている場合には使用できません。
- このメニューは、**エコ光センサー** が設定されている場合には使用できません。

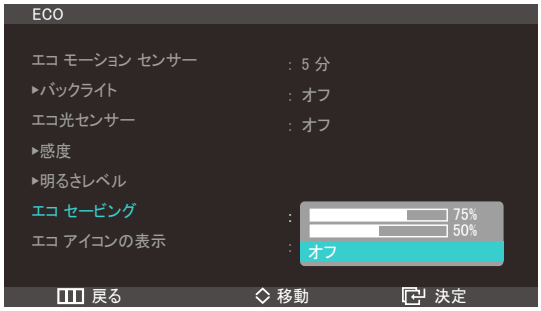
エコ セービングの設定

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[□/⏎]を押します。

3 [▼/▲]を押して**ECO**に移動し、[□/⏎]を押します。

4 [▼/▲]を押して**エコ セービング**に移動し、[□/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。



- **75%**: モニターの消費電力をデフォルト レベルの 75% に変更します。
- **50%**: モニターの消費電力をデフォルト レベルの 50% に変更します。
- **オフ**: **エコ セービング** 機能を無効にします。

5 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/⏎]を押します。

6 選択されたオプションが適用されます。

6.1.4 エコ アイコンの表示

エコ アイコンの表示 の設定

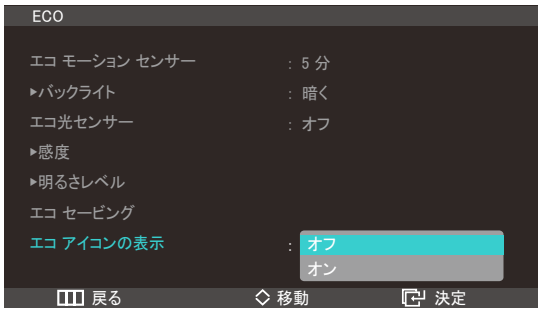
1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押してセットアップとリセットに移動し、[□/⏎]を押します。

3 [▼/▲]を押してECOに移動し、[□/⏎]を押します。

4 [▼/▲] を押して エコ アイコンの表示 に移動し、[□/⏎] を押します。

以下の画面が表示されます。

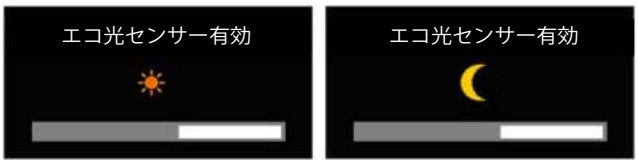


- オフ: エコ アイコン表示機能を無効にします。
- オン: エコ センサーの動作ステータスをポップアップ ガイドとして表示します。

5 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/⏎]を押します。

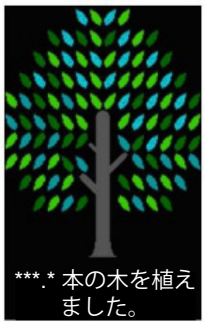
6 選択されたオプションが適用されます。

- エコ モーション センサー が有効になっている場合に、オフ タイマーが設定されている時間モニターがアイドル状態になると、エコ モーション センサー がアクティブになり、モニターが省電力モードに入ります。
- 省電力モードが有効になる前に、上の画像のように エコ モーション センサー の動作ステータスを表示する画面が表示され、10 秒のカウントダウン タイマーが起動します。



- エコ光センサー がオンの場合に周囲の明るさに応じて画面の輝度が調整されるときには、上のようなポップアップが表示され、画面の輝度の調整が表示されます。
- 周囲が明るくなるにつれて画面が明るくなった場合、明るさスライド バーのレベルが上昇し、太陽の画像が表示されます。画面が暗くなった場合、明るさスライド バーのレベルが

低下し、月の画像が表示されます。明るさスライド バーは、センサーがアクティブになった後、約 3 秒間表示されます。



- **エコ アイコンの表示** が **オン** の場合、エネルギー ツリーが完成すると、上のようなポップアップが表示されます。

上のような画像が表示された場合、**エコ アイコンの表示** オプションが **オン** になっています。ポップアップが表示されないようにするには、この設定を **オフ** に変更します。

- **エコ モーション センサー**、**エコ光センサー** および **エコ セービング** 機能により節約された電力の量が累積され、エネルギー ツリーの成長によって進行状況が表示されます。

モニターの消費電力の節約量が増えるにつれて、エネルギー ツリーが成長します。従って、ツリーの成長には、輝度制御機能など、電力の消費に関係するその他の機能も影響を及ぼします。

- **エコ モーション センサー**、**エコ光センサー** および **エコ セービング** などの省電力機能の使用により節約された電力の総量は、二酸化炭素の量に換算されて表示されます。
- 節約された電力の総量が、1 本の木が 1 年間に吸収する二酸化炭素と同じ量に達すると、完全なエネルギー ツリーが表示されます。これは、1 本の木を植えるのと同等の省電力が実現されたことを示しています。このように、簡単に時間を追って節約した電力の総量を把握し、木の成長という形でその効果を確認することができます。
- ツリーの成長過程は、10 種類の画像（ステージ）によって表されます。1 本のツリーが完成すると、ツリーの累積本数がカウントされ、最初の画像に戻ります。エネルギー ツリーの本数は、小数点以下第 1 位までに丸められます。

6.2 メニューの透明度

メニュー ウィンドウの透明度を設定します:

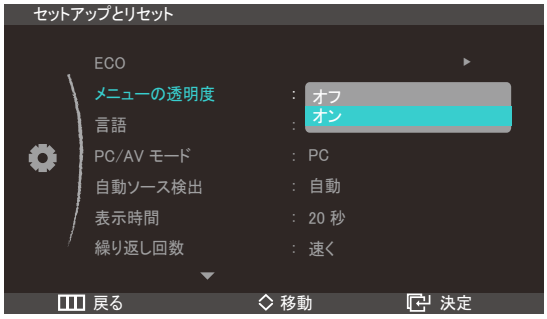
6.2.1 メニューの透明度の変更

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[□/↵]を押します。

3 [▼/▲]を押して**メニューの透明度**に移動し、[□/↵]を押します。

以下の画面が表示されます。



4 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/↵]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

6.3 言語

メニューの言語を設定します。

- 言語設定への変更は、画面のメニュー表示のみに対して適用されます。
- ご使用の PC のその他の機能には適用されません。

6.3.1 言語 の変更

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[□/⏎]を押します。

3 [▼/▲]を押して**言語**に移動し、[□/⏎]を押します。

以下の画面が表示されます。

4 [▼/▲]を押して該当する言語に移動し、[□/⏎]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

6.4 PC/AV モード

PC/AV モード を AV に設定します。映像サイズが拡大されます。このオプションは映画を視聴する場合に便利です。

このメニューは、PBP が オン に設定されている場合には使用できません。

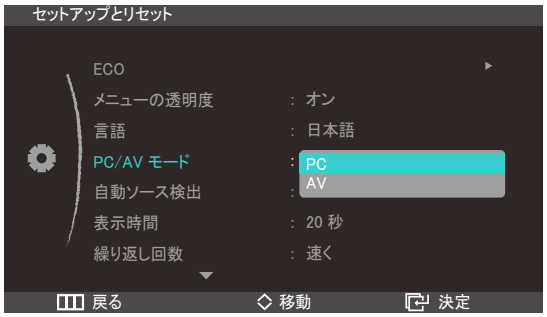
6.4.1 PC/AV モードの設定

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押してセットアップとリセットに移動し、[□/↵]を押します。

3 [▼/▲]を押して PC/AV モードに移動し、[□/↵]を押します。

以下の画面が表示されます。



4 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/↵]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

6.5 自動ソース検出

自動ソース検出を有効化します。

このメニューは、**PBP** が **オン** に設定されている場合には使用できません。

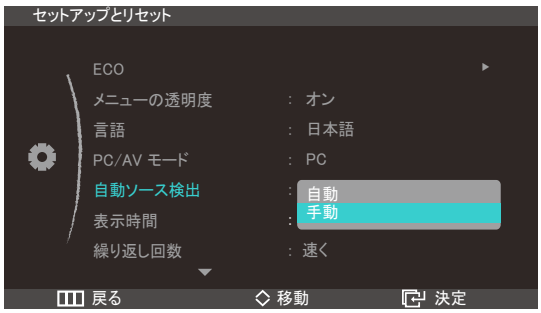
6.5.1 自動ソース検出の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[□/⏎]を押します。

3 [▼/▲]を押して**自動ソース検出**に移動し、[□/⏎]を押します。

以下の画面が表示されます。



- **自動**: 入力ソースが自動認識されます。
- **手動**: 入力ソースを手動で選択します。

4 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/⏎]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

6.6 表示時間

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューを一定期間使用しなかった場合に自動的に消えるよう設定します。

表示時間では、OSD メニューが消えるまでの時間を指定できます。

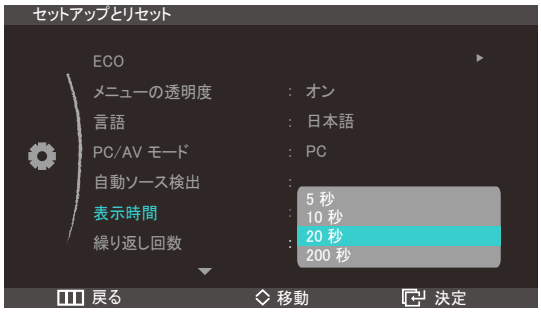
6.6.1 表示時間の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[□/↵]を押します。

3 [▼/▲]を押して**表示時間**に移動し、[□/↵]を押します。

以下の画面が表示されます。



4 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/↵]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

6.7 繰り返し回数

ボタンが押されたときの応答速度を制御します。

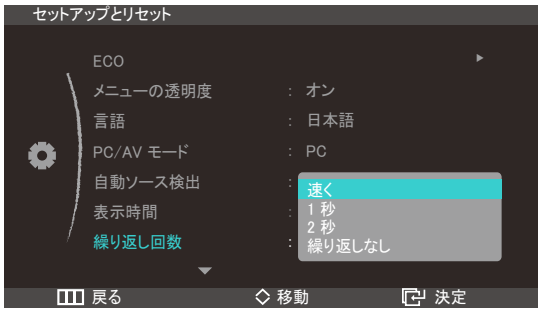
6.7.1 繰り返し回数の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[□/↵]を押します。

3 [▼/▲]を押して**繰り返し回数**に移動し、[□/↵]を押します。

以下の画面が表示されます。



- **速く**、**1 秒**または **2 秒**を選択できます。**繰り返しなし**を選択した場合には、コマンドはボタンが押されたときに 1 回のみ反応します。

4 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/↵]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

6.8 カスタマイズキー

以下の方法で、目的のモードに Customized Key を設定することができます。

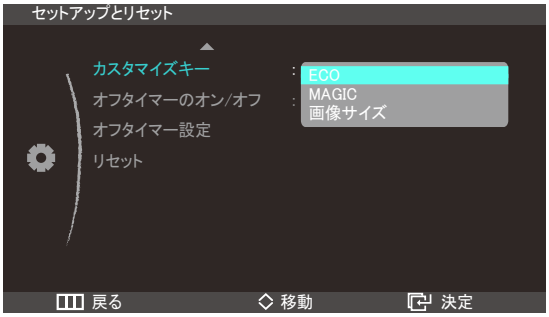
このメニューは、PBP が オン に設定されている場合には使用できません。

6.8.1 カスタマイズキー の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押してセットアップとリセットに移動し、[□/↵]を押します。

3 [▼/▲]を押してカスタマイズキーに移動し、[□/↵]を押します。
以下の画面が表示されます。



- ECO – MAGIC – 画像サイズ

4 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/↵]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

6.9 オフタイマーのオン/オフ

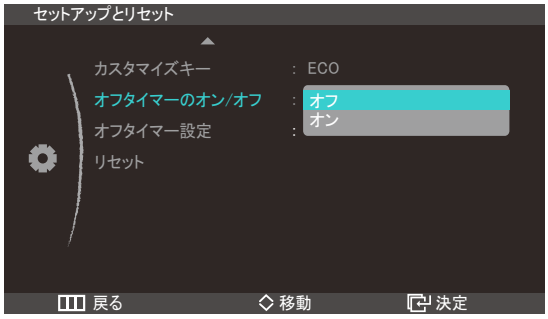
電源が自動的にオフになるオフ タイマーを、有効または無効にします。

6.9.1 オフタイマーのオン/オフの設定

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[□/⏎]を押します。

3 [▼/▲]を押して**オフタイマーのオン/オフ**に移動し、[□/⏎]を押します。
以下の画面が表示されます。



- **オフ**: 電源を自動的にオフにしない場合はオフ タイマーをオフにします。
- **オン**: 電源を自動的にオフにする場合はオフ タイマーをオンにします。

4 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/⏎]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

6.10 オフタイマー設定

オフ タイマーは、1～23 時間の範囲内で設定できます。指定された時間に達すると自動的に電源がオフになります。

このメニューは、**オフタイマーのオン/オフ** が **オン** に設定されている場合にのみ使用できます。

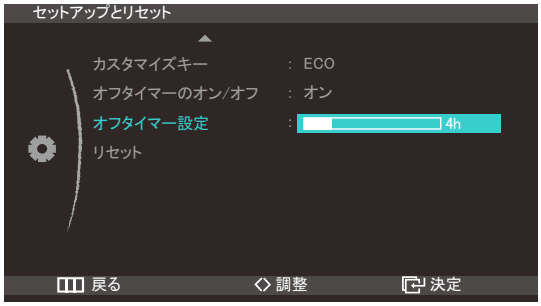
6.10.1 オフタイマー設定の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[□/⏎]を押します。

3 [▼/▲]を押して**オフタイマー設定**に移動し、[□/⏎]を押します。

以下の画面が表示されます。



4 [▼/▲]を押して**オフタイマー設定**を行います。

6.11 リセット

製品に対するすべての設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。

このメニューは、**PBP** が **オン** に設定されている場合には使用できません。

6.11.1 設定の初期化（リセット）

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[□/↵]を押します。

3 [▼/▲]を押して**リセット**に移動し、[□/↵]を押します。

以下の画面が表示されます。

4 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/↵]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

7 インフォメーションメニューおよびその他

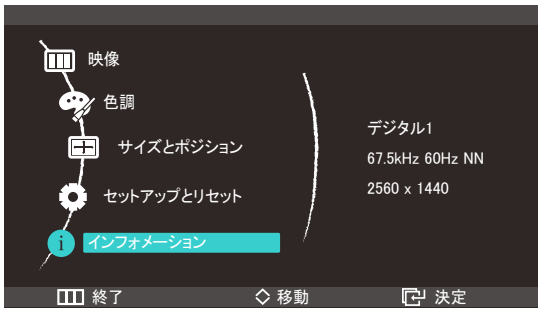
7.1 インフォメーション

現在の入力ソース、周波数および解像度を表示します。

7.1.1 インフォメーションの表示

1 [MENU]を押します。

2 [▼/▲]を押して**インフォメーション**に移動します。
現在の入力ソース、周波数および解像度が表示されます。



7.2 起動画面での 明るさ の設定

起動画面では、オンスクリーン ディスプレイ メニューを使用することはできませんが、[◉]ボタンを使用して**明るさ**を調整できます。

1 起動画面で[◉]を押します。以下の画面が表示されます。

2 [▼/▲]ボタンを使用して**明るさ**を調整します。

ケーブルが [DP IN] または [AUDIO IN] ポートに接続されている場合に、**音量** を調節することができます。

8 トラブルシューティング ガイド

8.1 Samsung カスタマー サービス センターにお問い合わせいただく前に

8.1.1 製品のテスト

サムスンお客様相談ダイヤルにご連絡いただく前に、以下の手順で製品のテストを行ってください。問題が解決しない場合には、サムスンお客様相談ダイヤルにご連絡ください。

製品のテスト機能を使用して、製品が正常に動作しているかどうかを確認します。

製品と PC が正しく接続されているのに画面に何も表示されず、電源インジケーターが点滅する場合には、自己診断テストを実行します。

1 PC と製品の両方の電源をオフにします。
2 製品からケーブルを外します。
3 製品の電源をオンにします。
4 **信号ケーブルを確認してください**というメッセージが表示された場合には、製品は正常に動作しています。

画面に何も映らないままのときには、PC システム、ビデオ コントローラおよびケーブルを確認します。

8.1.2 解像度と周波数の確認

サポートされている解像度を超えている場合 (″9.3 標準信号モード表″参照) には、**最適なモードではありません**というメッセージが少しの間表示されます

8.1.3 以下について確認します。

インストールの問題 (PC モード)	
画面がオンとオフを繰り返す。	製品と PC との間のケーブル接続を確認し、しっかりと接続されていることを確認します。(″2.2 PC の接続と使用″参照)。

画面の問題	
電源 LED が消灯している。画面がオンにならない。	電源コードが正しく接続されていることを確認します (″2.2 PC の接続と使用″参照)。
信号ケーブルを確認してくださいというメッセージが表示される。	製品にケーブルが正しく接続されていることを確認します。(″2.2 PC の接続と使用″参照)。
	電源がオンになっている製品に装置が接続されていることを確認します。

画面の問題	
最適なモードではありません と表示される。	このメッセージは、グラフィック カードからの信号が製品の最大解像度または最大周波数を超えている場合に表示されます。
	標準信号モード表 (78 ページ) を参照して、製品の性能に合わせて最大解像度および周波数を変更します。
画面の画像がゆがんで見える。	製品のケーブル接続を確認します (″2.2 PC の接続と使用″参照)。
画面がはっきりしない。画面がぼやけてみえる。	アクセサリ (ビデオの拡張ケーブルなど) を取り外して再度試してみます。
	解像度と周波数を推奨のレベルに設定します。(″9.1 一般″参照)。
画面が安定せず震えて見える。	PC の解像度および周波数が、製品が対応している解像度および周波数の範囲内で設定されていることを確認し、必要な場合には、このマニュアルの標準信号モード表 (78 ページ) および製品の**インフォメーション**メニューを参照して、設定を変更します。
画面の画像の左側に影やゴーストがある。	
画面が明るすぎる。画面が暗すぎる。	**明るさ** (39 ページ) と**コントラスト** (40 ページ) を調整します。
画面の色が正しくない。	**色調**設定を変更します。 (″ 色合いの設定″ 掲載ページ 43参照)。
画面の色に影があり、ゆがんで見える。	**色調**設定を変更します。 (″ 色合いの設定″ 掲載ページ 43参照)。
白が正しく白色に見えない。	**色調**設定を変更します。 (″ 色合いの設定″ 掲載ページ 43参照)。
画面に画像が表示されず、LED が 0.5～1 秒間隔で点滅する。	製品が省電力モードになっています。
	キーボードのキーを押すかマウスを動かすと、前の画面に戻ります。

音声の問題	
音声が出ない	オーディオ ケーブルの接続を確認するか、音量を調整します。
	音量をチェックします。
音量が小さすぎる。	音量を調整します。
	最大レベルにしても音量が小さい場合には、PC のサウンド カードまたはソフトウェア プログラムの音量を調整します。

入力信号装置おｎ問題	
PC の起動時にビープ音が鳴る。	PC の起動時にビープ音が鳴る場合は、PC の点検修理を行ってください。

8.2 Q & A

質問	回答
周波数の変更方法は?	グラフィック カードで周波数を設定します。 • Windows XP:**コントロール パネル** → **デスクトップの表示とテーマ** → **画面** → **設定** → **詳細設定** → **モニタ**を選択し、**モニタの設定**の**リフレッシュ レート**を調節します。 • Windows ME/2000:**コントロール パネル** → **画面** → **設定** → **詳細設定** → **モニタ**を選択し、**モニタの設定**の**リフレッシュ レート**を調節します。 • Windows Vista:**コントロール パネル** → **デスクトップのカスタマイズ** → **個人設定** → **画面の設定** → **詳細設定** → **モニタ**を選択し、**モニタの設定**の**リフレッシュ レート**を調節します。 • Windows 7 :**コントロール パネル** → **デスクトップの表示とテーマ** → **画面** → **画面の解像度** → **詳細設定** → **モニタ**を選択し、**モニタの設定**の**リフレッシュ レート**を調節します。
解像度の変更方法は?	• Windows XP:**コントロール パネル** → **デスクトップの表示とテーマ** → **画面** → **設定** で解像度を調整します。 • Windows ME/2000:**コントロール パネル** → **画面** → **設定** で解像度を調整します。 • Windows Vista:**コントロール パネル** → **デスクトップと個人設定** → **個人設定** → **画面の設定** で解像度を調整します。 • Windows 7 :**コントロール パネル** → **デスクトップと個人設定** → **画面** → **解像度の調整** で解像度を調整します。
省電力モードの設定方法は?	• Windows XP:**コントロール パネル** → **デスクトップの表示とテーマ** → **画面** → **スクリーン セーバーの設定** または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。 • Windows ME/2000:**コントロール パネル** → **画面** →**スクリーン セーバーの設定** または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。 • Windows Vista:**コントロール パネル** → **デスクトップと個人設定** → **個人設定** → **スクリーン セーバーの設定** または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。 • Windows 7 :**コントロール パネル** → **デスクトップと個人設定** → **個人設定** → **スクリーン セーバーの設定** または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。

調整の詳細な手順については、ご使用の PC またはグラフィック カードのユーザー マニュアルを参照してください。

9 仕様

9.1 一般

http://www.samsung.com/jp

モデル名		S27A850D
パネル	サイズ	27 インチ (68 cm)
	表示範囲	596.74 mm (H) x 335.66 mm (V)
同期	水平周波数	30～90 kHz
	垂直周波数	56～76 Hz
表示色		16.7 M (True 8 bit)
解像度	最適解像度	2560 x 1440 @ 60 Hz
	最大解像度	2560 x 1440 @ 60 Hz
最大ピクセル クロック		270 MHz (DVI-D、DP)
電源		この製品は 100～240V を使用します。標準の電圧は国によって異なりますので、製品背面のラベルを参照してください。
信号コネクタ		DVI-Dual x 2, DP
USB		1UP/3DOWN(USB3.0)
寸法 (W x H x D) / 重量		642.5 X 442.5 X 224.5 mm 6.9 kg
環境条件	動作時	温度: 0℃～50℃ (32˚F～122˚F) 湿度: 10%～80%、結露しないこと
	記録装置(梱包保存時)	温度: -20˚C～60˚C (-4˚F～140˚F) 湿度: 5%～90%、結露しないこと
プラグ & プレイ		このモニターは、プラグ & プレイ互換システムにインストールして使用することができます。モニターと PC システムとの双方向のデータ交換により、モニターの設定を最適化します。モニターのインストールは自動的に行われます。ただし、必要に応じてインストール設定をカスタマイズすることができます。
パネル ドット (ピクセル)		この製品の製造上の特質によって、パネルに表示される映像の中に約 100 万個に 1 個の割合 (1ppm) でピクセルが通常よりも明るく、または暗く表示される場合があります。これは製品の性能に影響を与えるものではありません。

上記の仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。

VCCI-B

この装置は、クラスB　情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

9.2 省電力

この製品の省電力機能は、製品が一定時間使用されていないときには画面をオフにして消費電力を小さくし、電源 LED の色を変更します。省電力モードでは電源はオフにはなりません。画面を再度オンにするには、キーボードのキーを押すかマウスを動かします。省電力モードは、製品が省電力機能のある PC に接続されているときにのみ機能します。

省電力	通常動作	省電力モード	電源オフ (電源ボタン)
電源インジケーター	オン	点滅	オフ
消費電力	69 W (USB を除く:53 W)	1 W	1 W

- 表示される消費電力のレベルは、動作条件または設定が変更されたタイミングによって異なります。
- 消費電力を 0 ワットにするには、製品本体背面の電源スイッチをオフにするか電源コードを抜きます。長期間製品を使用しない場合は、必ず電源コードを抜いてください。電源スイッチを使用できない場合に電力消費を 0 にするには、電源ケーブルを抜きます。

9.3 標準信号モード表

この製品は、パネルの特性に応じて最適な画質を得るために、各画面サイズについて 1 種類の解像度のみ設定することができます。したがって、指定の解像度以外の解像度を設定すると、画質が低下する場合があります。これを避けるには、ご使用の製品の画面サイズ用の最適な解像度を選択することをお勧めします。

以下の標準信号モードに該当する信号が PC から送信される場合には、画面は自動的に調整されます。PC から送信される信号が標準の信号モードに含まれるものではない場合、電源 LED が点灯していても画面には何も表示されません。この場合には、グラフィック カードのユーザー マニュアルを参照して、以下の表に従って設定を変更してください。

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル クロック (MHz)	同期極性 (H/V)
IBM、640 x 350	31.469	70.086	25.175	+/−
IBM、720 x 400	31.469	70.087	28.322	−/+
MAC、640 x 480	35.000	66.667	30.240	−/−
MAC、832 x 624	49.726	74.551	57.284	−/−
MAC、1152 x 870	68.681	75.062	100.000	−/−
VESA、640 x 480	31.469	59.940	25.175	−/−
VESA、640 x 480	37.861	72.809	31.500	−/−
VESA、640 x 480	37.500	75.000	31.500	−/−
VESA、800 x 600	35.156	56.250	36.000	+/+
VESA、800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+
VESA、800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+
VESA、800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+
VESA、1024 x 768	48.363	60.004	65.000	−/−
VESA、1024 x 768	56.476	70.069	75.000	−/−
VESA、1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+
VESA、1152 x 864	67.500	75.000	108.000	+/+
VESA、1280 x 800	49.702	59.810	83.500	−/+
VESA、1280 x 960	60.000	60.000	108.000	+/+
VESA、1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	+/+
VESA、1280 x 1024	79.976	75.025	135.000	+/+
VESA,1440 x 900	55.935	59.887	106.500	−/+
VESA,1600 x 1200	75.000	60.000	162.000	+/+

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル クロック (MHz)	同期極性 (H/V)
VESA,1680 x 1050	65.290	59.954	146.250	−/+
VESA,1920 x 1200	74.556	59.885	193.250	−/+
VESA, 2560 x 1440(RB)	88.787	59.951	241.500	+/−

- 水平周波数

  1 本の線を画面の左から右にスキャンするのに必要な時間を水平サイクルと呼びます。水平サイクルの逆数を水平周波数と呼びます。水平周波数は kHz 単位で測定します。

- 垂直周波数

  1 秒間に数十回同じ映像を繰り返し表示することによって、自然な映像を表示できるようになります。この反復周波数を ″垂直周波数″ または ″リフレッシュ レート″ と呼び、Hz 単位で表示します。

お客様相談ダイヤル

東雲サービスセンター

0120-327-527

受付時間	平日（土日祭日を除く）9:00~17:00 ※
ホームページ	http://www.samsung.com/jp/
住所	〒135-0062　東京都江東区東雲2-6-38
Fax	03-3527-5533

予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

用語

OSD（オンスクリーン ディスプレイ）

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）では、画面上の設定を行って、必要に応じて画質を最適化することができます。画面に表示されるメニューを使用して、画面の明るさや色合い、サイズなどのさまざまな設定を変更できます。

HUB

HUB とは、ネットワークに接続されている複数の機器の共通の接続点となる装置を指します。HUB を使用して、単一ネットワーク上の複数の PC、ビデオ装置、オフィス機器、LAN を接続することができます。

ガンマ

ガンマ メニューでは、画面の中間調を示すグレースケールを調整します。明るさを調整すると画面全体が明るくなりますが、ガンマを調整した場合は中間の明るさの部分だけが明るくなります。

グレースケール

スケールとは色の強度のことで、画面上の暗い部分から明るい部分への色の変化を表します。画面の明るさの変更は白と黒の変化で表現されますが、グレースケールは白と黒の中間色を指すため、ガンマ調整でグレースケールを変更すると、画面上の中間の明るさの部分が変化します。

走査速度

走査速度は「リフレッシュ レート」とも呼ばれ、画面の書き換え（リフレッシュ）頻度を表します。画像のリフレッシュ時には画面データが送信されます。ただし、これを肉眼で確認することはできません。この画面を書き換える回数を走査速度と呼び、Hz 単位で表します。たとえば走査速度が 60Hz の場合は、1 秒間に 60 回画面の書き換えが行われます。画面の走査速度は、ご使用の PC およびモニターのグラフィック カードの性能によって異なります。

水平周波数

モニター画面に表示される文字や画像は、多数のドット（ピクセル）で構成されています。ピクセルは水平方向の線（ライン）になるよう送信され、これらのラインが垂直に配列されて画像が形成されます。水平周波数は kHz 単位で測定され、1 秒間に水平方向のラインがモニター画面に送信され描画される回数を表します。たとえば水平周波数が 85 の場合は、画像を作り出す水平方向のラインが 1 秒間に 85,000 回送信されます。このとき、水平周波数は 85kHz と表されます。

垂直周波数

画像は、水平方向の多数のラインで構成されます。垂直周波数は Hz 単位で測定され、1 秒間に水平方向のラインによって描画される画像の数を表します。たとえば垂直周波数が 60 の場合は、

1 秒間に画像が 60 回描画されます。垂直周波数は ″リフレッシュ レート″ とも呼ばれ、画面のちらつきに作用します。

解像度

解像度は、画面を形成している水平および垂直方向のピクセルの数で、ディスプレイの精細度を意味します。

高い解像度では、多くの情報を画面上に表示できるため、同時に複数の作業を実行する場合に適しています。

たとえば解像度が 2560 x 1440 の場合、水平方向のピクセル (水平周波数) は 2560個、垂直のライン (垂直解像度) は 1440 本となります。

プラグ & プレイ

プラグ & プレイ機能では、モニターと PC 間で情報が自動的に交換され、最適なディスプレイ環境が構築されます。

モニターでは VESA DDC (国際規格) を使用してプラグ & プレイを実行しています。

索引

M

MAGIC 37

P

PBP 48

PC の接続と使用 28

PC/AVモード 62

Q

Q & A 74

S

Samsung カスタマー サービス センターに
お問い合わせいただく前に 71

Z

安全のために 5

一般 76

応答時間 42

画像サイズ 50

起動画面での 明るさ の設定 70

繰り返し回数 65

言語 61

自動ソース検出 63

省電力 77

色温度 46

製品使用時の正しい姿勢 12

製品の USB HUB としての使用 35

製品の設置 22

青 45

赤 43

接続の前に 27

著作権 2

内容の確認 17

標準信号モード表 78

表示時間 64

部品 19

明るさ 39

用語 81

緑 44

い

インフォメーション 70

え

エコ 52

お

オフタイマー設定 68

オフタイマーのオン/オフ 67

か

カスタマイズキー 66

ガンマ 47

く

クリーニング 3

こ

コントラスト 40

し

シャープネス 41

へ

ヘッドフォンの接続 34

索引

め

メニューの透明度 *60*

り

リセット *69*